2. 流域及び河川の自然環境

2.1 流域の自然環境

源流から新潟県境までの上流部（千曲川）は、標高差等に起因する多様な気象条件により、生育する植物相は多様で、それらを生息環境とする動物相も多岐にわたっている。森林帯を標高別にみると、1,000m 以下ではクリ-コナラ、1,000m 以上ではブナ等、1,500m 以上ではコメツガ、2,000m 以上ではオオシラビソ-シラビソ、2,500m 以上ではハイマツとなっている。犀川の上流は上高地（かみこうち）を擁し、清冽な流れと穂高連峰（ほたかれんぽう）の岩峰により優れた景観が形成されている。

長野県境から大河津分水路河口までの中流部は、広大な流域に豪雪地帯を抱えることから水量が豊かで、山間部から平野部へと大きく地形が移り変わるなかで多様な自然環境が形成されている。森林帯を標高別にみると、500m 以下ではカラマツやスギの人工林のほか、アカマツ林の自然林等が、1,000m 以下ではコナラ、1,500m 以下ではブナ-ミズナラ、1,500m 以上ではチシマザサ-ブナが多くみられ、2,000m 級の山々の頂部や周辺にはエゾリンドウなどの高山植物もみられる。

大河津分水路分派点から河口までの下流部は、広大な平野部、海浜部の砂丘地、樹林に覆われた丘陵・山地と起伏に富んだ地形の中に多様な自然環境が形成されている。平野部を囲む樹林は、ほとんどがスギなどの人工林となっている。

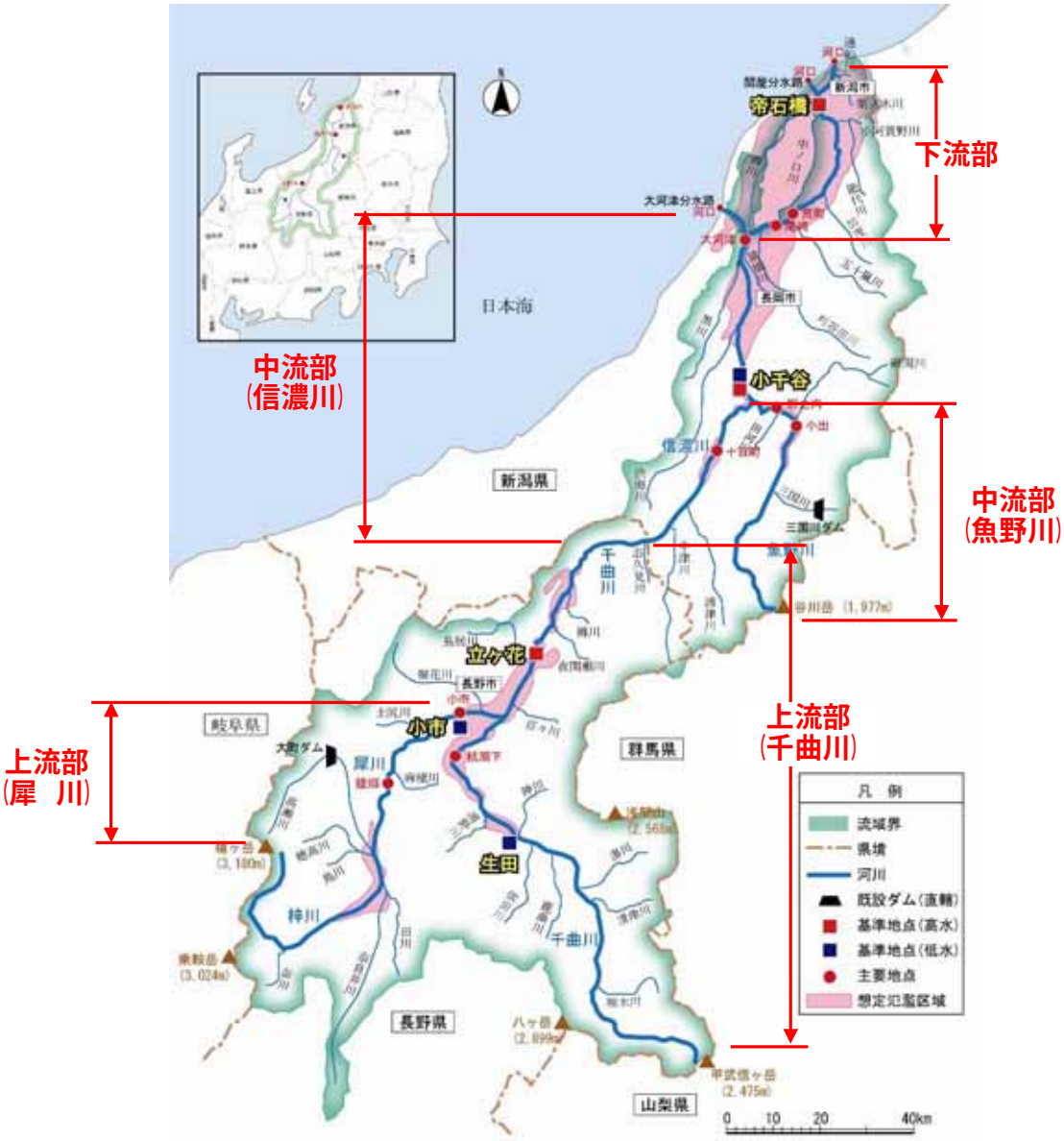


図 2-1　信濃川流域区分図

表 2-1　信濃川流域の環境区分

環境区分	地形概要
上流部 (千曲川)	源流～新潟県境 河床勾配：1/30～1/1,500 山間地、盆地、狭窄部を流下
上流部 (犀　川)	源流～千曲川合流点 河床勾配：1/20～1/300 山間地、扇状地、狭窄部を流下
中流部 (信濃川)	新潟長野県境～大河津分水路河口 河床勾配：1/200～/3,000 河岸段丘、扇状地、平地、山地狭窄部を流下
中流部 (魚野川)	源流～信濃川合流点 河床勾配：1/80～1/400 山間地、盆地を流下
下流部	大河津分水路分派点～河口 河床勾配：1/3,700～1/15,000 低平地を蛇行しながら流下

2.2 河川の自然環境

(1) 上流部（千曲川）

河川敷には、砂礫河原、ヨシ原等がみられ、コチドリ、オオヨシキリ、カワセミ等、多くの鳥類が利用しているほか、水域には、瀬や淵にアカザ、アユ、ウグイ等が生息し、ワンドやたまりにアブラハヤ等が生息している。さらに、河川敷内の水路にはメダカやシナイモツゴもみられ、植物相は、水際にはカワヂシャ等の希少種が現存する一方、近年は外来種のアレチウリやハリエンジュ等が増加している。

コチドリ
【分　　布】ユーラシア大陸の熱帯から亜寒帯まの一部まで広く繁殖する。主に夏鳥として渡来し、全国で繁殖する。
【生息場所】川の中流から下流の砂礫河原を主な生息場所とする。
【繁殖時期】産卵期は４月から７月。
【食　　性】水辺の小昆虫や小型甲殻類、ゴカイ類などを捕食する。
出典：川の生物図典

カワヂシャ
【分　　布】中部地方以西に分布する。
【生育場所】他の畔や川岸、溝の淵など湿った場所に生育する。
【花期】花期は５月から６月。白色で淡紫色のすじのある小さな花を多数つける。
出典：日本の野草

写真 2-1　上流部（千曲川）における主な確認種

(2) 犀川

上高地から梓川にかけては、北海道以外では唯一生息が確認されているケショウヤナギが河川敷に自生しているほか、ツメレンゲ等の希少な植物が生育している。また、昆虫類ではクロツバメシジミやコムラサキ等の生息もみられ、水域には瀬と淵が連続し、瀬にはカジカ等が生息するほか、犀川、高瀬（たかせ）川、穂高（ほたか）川の三川合流点周辺は湧水が豊富であり、湧水箇所にはスナヤツメ等が生息している。

ケショウヤナギ
【分　　布】北海道十勝・北見地方と長野県梓川の上中流域に隔離分布している。
【生育場所】河原に生育する。
【花　　期】花期は４月下旬から５月。葉の展開と同時に開花する。
出典：山渓ハンドブック、平凡社木本Ⅰ

スナヤツメ
【分　　布】北海道、三浦・伊豆半島を除く、本州、四国全域、鹿児島県、宮崎県を除く九州に分布する。
【生息場所】水の澄んだ流れの緩やかな浅い細流に生息する。湧水のある砂泥底を好む。
【産卵時期】本州中央部では１月から３月。
【産卵場所】河川中流域の平瀬、淵尻で産卵する。
出典：川の生物図典

写真 2-2　犀川における主な確認種

(3) 中流部（信濃川）

河川敷にはオニグルミ、ヤナギ、ヨシの群落が分布しており、陸上動物の生息・繁殖環境として利用され、サギ類のコロニーも存在し、水際にはタコノアシ、ミクリ等もみられる。

動物相は多種多様で、オオヨシキリ、ホオジロ、カシラダカ等、新潟県内の河川でみられる鳥類のほとんど確認され、昆虫類ではミヤマシジミ、マルコブスジコガネ等もみられる。水域にはコイ、ウグイ、アユ、サケなど様々な魚類が確認されている。

タコノアシ
【分　　布】本州から奄美大島にかけて分布する。
【生育場所】泥湿地、沼、水田、河川敷のヨシ原の周囲などに生育する。
【繁殖形態】種子と地下茎で繁殖する。花期は8月から10月。9月から10月頃に果実をつくる。
出典：日本の野草

ミクリ
【分　　布】北海道、本州、四国、九州に分布する。
【生育場所】池沼や水路、水湿地などの浅い水中に群生する。
【繁殖形態】種子と地下茎で繁殖する。花期は6月から8月。果実には種子が1個含まれ、落下あるいは水により運ばれて広がる。
出典：日本の野草

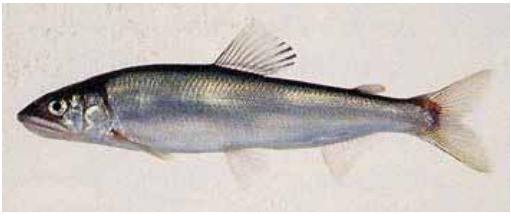
ホオジロ
【分　　布】北海道から屋久島まで主に留鳥として分布する。
【生息場所】藪のある明るい開けた場所に生息する。
【繁殖時期】4月下旬から巣作りを始め、9月下旬まで雛を育てる。
【食　　性】イネ科の雑草の種子。繁殖期には昆虫の幼虫なども採餌する。
出典：川の生物図典

ミヤマシジミ
【分　　布】本州のみに分布する。関東・中部地方に産地が多い。
【生息場所】食餌植物のコマツナギ群落の見られる河川敷や堤防に生息する。
【繁殖形態】成虫は5月中旬から10月中旬に出現する。雌は食餌植物の花穂の蕾、新芽などに1卵産付する。卵期は夏期の飼育で3～4日程度。
出典：川の生物図典

写真 2-3 中流部における主な確認種

(4) 魚野川

河川敷にはミクリやバイカモ等が分布しており、昆虫類ではヒメシジミ本州・九州亜種やアカガネオサムシ等もみられる。また、水域には水量が豊富で瀬と淵が連続した清流がみられ、アユ、サケ、ヤマメ、カジカをはじめ淡水魚の宝庫となっている。



アユ
【分　　布】北海道西部以南の日本各地に分布する。
【生息場所】遡上したアユは中流から上流域の大石や岩盤のある瀬に縄張りを形成して定着する。
【産卵時期】9 月から 11 月下旬
【産卵場所】中流域最下部の砂砂利の浅瀬で産卵する。
出典：川の生物図典

サケ
【分　　布】日本海側では九州北部以北の河川に産卵のため遡上する。
【生息場所】主に中下流域を生息場とする。
【産卵時期】9 月から翌年 2 月
【産卵場所】砂利底から地下水の湧出する場所で産卵する。
出典：日本の淡水魚

写真 2-4　魚野川における主な確認種

(5) 下流部

河川敷にはヤナギ類等による河畔林が広がり、ヨシ、マコモ等がみられ、水域には緩やかに蛇行した流れにワンドやクリーク等が形成されるとともに、潟湖等の湿地環境や網状の用排水路によるネットワークが広がり、イトヨ、ウケクチウグイ等の魚類の多様な生息場を形成している。河口の少し上流では、ヨシ原がマガモ、ユリカモメ等の飛来地となっており、昆虫類では希少種のナゴヤサナエの羽化が確認されている。

ウケクチウグイ
【分　　布】阿賀野川水系と信濃川水系で確認されている。
【生息場所】生態については不明である。
【食　　性】ウグイよりも肉食性が強い。
出典：日本の淡水魚

ナゴヤサナエ
【分　　布】本州東北部から九州南部にかけて分布する。
【生息場所】主に大河川の河口部で見られる。
【成虫期】7 月から 8 月
出典：原色日本昆虫図鑑

写真 2-5　下流部における主な確認種

分派点に三角状の湿地が形成され、水生生物の生息場所となっている

ワンドが仔稚魚の生息場所となっている

水域は多くの魚類の産卵床や、カモ類の集団越冬地となっている

浮葉植物や沈水植物等が生育する他、魚類等の生息環境となっている

瀬と淵が連続した河床形態が形成され、アユをはじめ魚類の良好な生息環境となっている

流入支川には湧水がみられ、湧水に起因した水生植物や水生生物が生育・生息している

犀川合流点直下流には典型的な礫河原が形成され、砂礫地を好む動植物の生息・生育地となっている

図 2-2 信濃川流域の特徴的な自然環境

(6)信濃川における重要な種

既往の河川水辺の国勢調査において確認された生物のうち、法令及び環境省レッドデータブック等によりその生息、生育が危惧されている種（重要な種）は、次頁以降に示すとおりである。

表 2-2　重要な種の選定根拠文献

① 文化財保護法、文化財保護条例における国の天然記念物
② 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律における国内稀少野生動植物および緊急指定種
③ 環境省レッドリスト
1 哺乳類. 2007 年.　環境省
2 鳥類. 2006 年.　環境省
3 爬虫類・両生類. 2006 年.　環境省
4 汽水・淡水魚類. 2007 年.　環境省
5 昆虫類. 2007 年.　環境省
6 陸・淡水産貝類. 2007 年.　環境省
7 クモ形類・甲殻類等. 2006 年.　環境省
8 維管束植物. 2007 年.　環境省
9 維管束植物以外. 2007 年.　環境省
④ レッドデータブックにいがた　－新潟県の保護上重要な野生生物－
2001 年.　新潟県
⑤ 長野県版レッドデータブック　長野県の絶滅のおそれのある野生生物　動物編
2004 年.　長野県
長野県版レッドデータブック　長野県の絶滅のおそれのある野生生物　植物編
2003 年.　長野県

表 2-3　既往調査でこれまでに確認された重要な種

調査項目	種数
魚類	24 種
底生動物	25 種
植物	146 種
鳥類	36 種
両生類、爬虫類、哺乳類	7 種
昆虫類	63 種
計	301 種

表 2-4　魚類の重要な種一覧（H4～H14）

No.	種　名	信濃川			法指定･ＲＤＢ記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ｽﾅﾔﾂﾒ	○	○				VU	NT	VU
2	ｶﾜﾔﾂﾒ			○			VU	NT	
3	ｳﾅｷﾞ	○	○	○			DD	NT	EW
4	ﾅｶﾞﾌﾞﾅ			○			DD		
5	ｷﾝﾌﾞﾅ	○					NT		
6	ﾔﾘﾀﾅｺﾞ		○	○			NT		CR
7	ﾏﾙﾀ			○			LP		
8	ｳｹｸﾁｳｸﾞｲ		○	○			EN	NT	CR
9	ｶﾜﾋｶﾞｲ	○	○				NT		
10	ﾂﾁﾌｷ		○	○			VU		
11	ｽｺﾞﾓﾛｺ		○	○			NT		
12	ﾎﾄｹﾄﾞｼﾞｮｳ	○					EN	VU	VU
13	ｱｶｻﾞ	○	○	○			VU	NT	NT
14	ﾜｶｻｷﾞ		○	○				NT	
15	ｱﾕ	○	○	○					EW
16	ﾆｯｺｳｲﾜﾅ	○					DD		NT
17	ｻｹ		○	○					EW
18	ｻｸﾗﾏｽ		○				NT		NT,LP
19	ﾔﾏﾒ	○					NT		NT,LP
20	ﾒﾀﾞｶ	○	○	○			VU	NT	EN
21	ｲﾄﾖ		○	○			LP	VU	
22	ｶｼﾞｶ*	○					EN or NT＊	NT＊	NT
23	ｶｼﾞｶ中卵型			○			EN		
24	ｽｽﾞｷ			○			LP		

*ｶｼﾞｶ：環境省ＲＬによると「ｶｼﾞｶ小卵型」･ｶｼﾞｶ中卵型」はＥＮ、「ｶｼﾞｶ大卵型」はＮＴ
新潟県RDBによると「カジカ小卵型（ｳﾂｾﾐｶｼﾞｶ）」はNT

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-5　底生動物の重要な種一覧（H4～H14）

No.	種　名	信濃川			法指定･ＲＤＢ記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ﾏﾙﾀﾆｼ	○					NT	NT	NT
2	ｺｼﾀﾞｶﾋﾒﾓﾉｱﾗｶﾞｲ		○						CR+EN
3	ﾓﾉｱﾗｶﾞｲ	○	○	○			NT	NT	NT
4	ﾋﾗﾏｷﾐｽﾞﾏｲﾏｲ	○					DD		
5	ﾋﾗﾏｷｶﾞｲﾓﾄﾞｷ	○	○				NT		
6	ｶﾗｽｶﾞｲ			○			NT	NT	留
7	ﾔﾏﾄｼｼﾞﾐ			○			NT		
8	ﾏｼｼﾞﾐ			○			NT	NT	
9	ﾆﾎﾝﾏﾒｼｼﾞﾐ	○						NT	
10	ﾃﾅｶﾞｴﾋﾞ			○				NT	
11	ｵｵﾓﾉｻｼﾄﾝﾎﾞ		○				CR+EN	EN	
12	ｱｵﾊﾀﾞﾄﾝﾎﾞ	○						VU	VU
13	ｸﾛｽｼﾞｷﾞﾝﾔﾝﾏ	○		○					NT
14	ｷﾞﾝﾔﾝﾏ	○	○	○					NT
15	ﾎﾝｻﾅｴ	○	○	○				VU	
16	ﾅｺﾞﾔｻﾅｴ		○	○			NT	NT	
17	ﾒｶﾞﾈｻﾅｴ		○				NT	EN	VU
18	ﾋﾒｱﾐﾒｶﾜｹﾞﾗ	○							DD
19	ｺｵｲﾑｼ		○				NT	NT	
20	ﾀｲｺｳﾁ	○	○					EN	NT
21	ﾅﾍﾞﾌﾞﾀﾑｼ	○							留
22	ｼﾏｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						VU
23	ﾐｽﾞｽﾏｼ	○	○						NT
24	ｶﾞﾑｼ	○	○						NT
25	ｹﾞﾝｼﾞﾎﾞﾀﾙ	○	○						LP

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-6（1）　植物の重要な種一覧（H6～H16）

No.	種　名	信濃川			法指定･RDB記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ﾐｽﾞﾄﾞｸｻ		○					VU	EN
2	ﾄｸｻ	○						NT	
3	ｲﾇﾄﾞｸｻ		○					NT	
4	ｲﾇﾄﾞｸｻ	○	○	○				NT	
5	ｵｵﾊﾅﾜﾗﾋﾞ		○						VU
6	ﾐｽﾞﾜﾗﾋﾞ			○				NT	
7	ｵｵﾋﾒﾜﾗﾋﾞﾓﾄﾞｷ			○				VU	CR
8	ｶﾗﾏﾂ	○						LP	
9	ｹｼｮｳﾔﾅｷﾞ	○							NT
10	ｱｶﾒﾔﾅｷﾞ			○				VU	
11	ｼﾞｬﾔﾅｷﾞ	○						LP	
12	ｴｿﾞﾉｷﾇﾔﾅｷﾞ		○	○					CR
13	ｵｵﾀﾁﾔﾅｷﾞ			○					DD
14	ﾏﾙﾊﾞﾔﾅｷﾞ		○					VU	
15	ｻｸﾗﾊﾞﾊﾝﾉｷ		○				NT	NT	CR
16	ｱｶｶﾞｼ			○				LP	CR
17	ﾅﾗｶﾞｼﾜ		○						VU
18	ﾎｿﾊﾞｲﾗｸｻ	○	○						NT
19	ｳﾅｷﾞﾂｶﾐ		○						DD
20	ﾇｶﾎﾞﾀﾃﾞ		○				VU	VU	DD
21	ﾉﾀﾞｲｵｳ	○	○				NT	VU	NT
22	ﾌｼｸﾞﾛｾﾝﾉｳ	○	○					LP	
23	ｻﾈｶｽﾞﾗ		○					VU	VU
24	ｼﾛﾀﾞﾓ		○	○					DD
25	ﾌｻｻﾞｸﾗ	○						LP	
26	ﾊﾞｲｶﾓ	○	○					VU	
27	ｼﾞｭﾝｻｲ			○				VU	NT
28	ﾏﾂﾓ			○				VU	EN
29	ﾊﾝｹﾞｼｮｳ		○	○				VU	
30	ｳﾏﾉｽｽﾞｸｻ	○	○	○					VU
31	ﾄﾓｴｿｳ	○	○	○				VU	
32	ﾅｶﾞﾐﾉﾂﾙｷｹﾏﾝ		○				NT	NT	NT
33	ﾐｽﾞﾀｶﾞﾗｼ		○					EN	
34	ｲﾇﾅｽﾞﾅ	○	○					LP	
35	ﾂﾒﾚﾝｹﾞ	○					NT	VU	NT
36	ﾀｺﾉｱｼ	○	○	○			NT	VU	VU
37	ﾄﾍﾞﾗ			○				LP	
38	ｸｻﾎﾞｹ	○						VU	
39	ｵｵﾀﾞｲｺﾝｿｳ	○						VU	
40	ﾔﾏﾌﾞｷ	○	○					NT	
41	ｶﾜﾗｻｲｺ	○	○					VU	
42	ﾐﾂﾓﾄｿｳ		○					LP	
43	ﾐﾔﾏｻﾞｸﾗ							LP	
44	ﾏﾙﾊﾞﾉｼｬﾘﾝﾊﾞｲ			○				LP	
45	ﾜﾚﾓｺｳ	○						VU	
46	ｺｺﾞﾒｳﾂｷﾞ		○					LP	
47	ﾏﾙﾊﾞﾇｽﾋﾞﾄﾊｷﾞ	○						LP	
48	ﾉｱｽﾞｷ			○				LP	
49	ﾚﾝﾘｿｳ	○							NT
50	ﾏﾙﾊﾞﾊｷﾞ		○					NT	
51	ｲﾇﾊｷﾞ	○	○				NT	VU	NT
52	ﾆｼｷｿｳ	○	○						VU
53	ﾂﾙｸﾞﾐ		○					LP	
54	ｶﾗｽｳﾘ	○	○						DD
55	ﾋﾒﾐｿﾊｷﾞ		○	○					DD
56	ﾐｽﾞﾏﾂﾊﾞ		○				VU	VU	VU
57	ﾎｻﾞｷﾉﾌｻﾓ	○	○	○				VU	
58	ﾌｻﾓ	○		○					NT
59	ｶﾞｶﾞﾌﾞﾀ			○			NT	VU	
60	ｽｽﾞｻｲｺ		○				NT	VU	NT
61	ｺﾊﾞﾉｶﾓﾒﾂﾞﾙ		○						EN
62	ｼﾛﾊﾞﾅｶﾓﾒﾂﾞﾙ		○						VU
63	ﾋﾒﾖﾂﾊﾞﾑｸﾞﾗ	○						LP	
64	ｷｸﾑｸﾞﾗ			○				LP	
65	ﾌﾀﾊﾞﾑｸﾞﾗ			○					CR
66	ﾏﾒﾀﾞｵｼ	○		○			CR		EX
67	ｵﾆﾙﾘｿｳ		○					NT	
68	ｲﾇﾑﾗｻｷ			○					CR
69	ﾑﾗｻｷ		○				EN		CR
70	ﾀﾁｶﾒﾊﾞｿｳ		○					NT	
71	ﾊﾏｺﾞｳ		○					NT	
72	ｷｾﾜﾀ		○				VU	VU	NT
73	ﾏﾙﾊﾞﾉﾎﾛｼ			○				LP	

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-6（2）　植物の重要な種一覧（H6～H16）

No.	種　名	信濃川			法指定･RDB記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
74	ｵｵﾏﾙﾊﾞﾉﾎﾛｼ	○	○	○					VU
75	ｻﾜﾄｳｶﾞﾗｼ			○					VU
76	ｱﾌﾟﾉﾒ	○						VU	CR
77	ｼｿｸｻ		○						CR
78	ｷｸﾓ		○	○					EN
79	ｳﾘｸｻ		○	○					VU
80	ｺﾞﾏﾉﾊｸﾞｻ		○				VU		EN
81	ｶﾜﾁﾞｼｬ	○	○	○			NT	NT	NT
82	ﾊｸﾞﾛｿｳ		○						VU
83	ﾀﾇｷﾓ		○				NT	VU	CR
84	ｲﾇﾀﾇｷﾓ			○			NT	VU	NT
85	ﾄｳｵｵﾊﾞｺ		○	○				NT	
86	ｿｸｽﾞ		○						EN
87	ｵﾐﾅｴｼ	○		○				EN	
88	ﾂﾙｶﾉｺｿｳ			○					EN
89	ｶﾜﾗﾆﾝｼﾞﾝ	○							CR
90	ﾐﾔﾏﾔﾌﾞﾀﾊﾞｺ		○					LP	
91	ﾀｶｱｻﾞﾐ	○	○	○				NT	
92	ｻﾜｱｻﾞﾐ		○						VU
93	ﾘｭｳﾉｳｷﾞｸ	○						NT	
94	ﾂﾜﾌﾞｷ		○					NT	
95	ｶｾﾝｿｳ		○	○				NT	
96	ﾉﾆｶﾞﾅ		○					VU	
97	ｶﾜﾗﾆｶﾞﾅ	○					NT	VU	VU
98	ｶﾝﾄｳﾖﾒﾅ		○						VU
99	ｵﾅﾓﾐ	○	○	○			VU		
100	ｻｼﾞｵﾓﾀﾞｶ		○						CR
101	ｳﾘｶﾜ		○						VU
102	ﾔﾅｷﾞｽﾌﾞﾀ		○					VU	NT
103	ｸﾛﾓ	○	○	○				VU	CR
104	ﾄﾁｶｶﾞﾐ			○			NT	VU	EX
105	ﾐｽﾞｵｵﾊﾞｺ			○			VU	NT	VU
106	ｾｷｼｮｳﾓ		○					VU	EN
107	ｺｳｶﾞｲﾓ			○				VU	
108	ｾﾝﾆﾝﾓ		○	○				VU	EN
109	ﾎｿﾊﾞﾐｽﾞﾋｷﾓ	○	○	○					NT
110	ﾔﾅｷﾞﾓ	○	○	○					VU
111	ﾘｭｳﾉﾋｹﾞﾓ	○					NT		CR
112	ｲﾄﾓ		○				NT	VU	VU
113	ﾉｶﾝｿﾞｳ	○						NT	
114	ﾔﾏｼﾞﾉﾎﾄﾄｷﾞｽ		○					NT	
115	ﾐｽﾞｱｵｲ			○			NT	VU	CR
116	ﾎｼｸｻ		○						VU
117	ﾑﾂｵﾚｸﾞｻ			○					CR
118	ｳｷｶﾞﾔ			○					EN
119	ﾋﾛﾊﾉﾄﾞｼﾞｮｳﾂﾅｷﾞ		○					NT	
120	ｱｼｶｷ		○						NT
121	ｱｾﾞｶﾞﾔ	○	○	○					CR
122	ﾋｴｶﾞｴﾘ	○	○	○					DD
123	ﾋﾄﾂﾊﾞﾃﾝﾅﾝｼｮｳ		○					VU	VU
124	ｳﾗｼﾏｿｳ		○						VU
125	ﾐｸﾘ	○	○	○			NT	NT	VU
126	ﾅｶﾞｴﾐｸﾘ		○				NT	NT	EN
127	ﾋﾒﾐｸﾘ		○				VU	VU	EN
128	ｲﾄﾊﾅﾋﾞﾃﾝﾂｷ		○					LP	
129	ｸﾛｶﾜｽﾞｽｹﾞ	○	○						EN
130	ｵﾆｽｹﾞ	○						LP	
131	ｱｾﾞﾅﾙｺ		○	○					EN
132	ｼﾗｽｹﾞ	○	○					LP	
133	ﾏｽｸｻ	○	○	○				NT	
134	ﾃｷﾘｽｹﾞ	○	○					NT	
135	ﾔｶﾞﾐｽｹﾞ		○	○				NT	
136	ﾐｺｼｶﾞﾔ		○	○				VU	
137	ｵｵｶﾜｽﾞｽｹﾞ	○	○					NT	
138	ｵﾆﾅﾙｺｽｹﾞ			○				VU	
139	ﾇﾏｶﾞﾔﾂﾘ	○	○	○					EN
140	ｼﾛｶﾞﾔﾂﾘ		○	○					EN
141	ﾋﾒｶﾞﾔﾂﾘ		○	○				LP	DD
142	ｱｵﾃﾝﾂｷ			○					CR
143	ﾂﾙｱﾌﾞﾗｶﾞﾔ		○	○				NT	EN
144	ｺｼﾝｼﾞｭｶﾞﾔ		○					VU	VU
145	ｼﾗﾝ		○				NT		
146	ｴﾋﾞﾈ		○				NT	VU	CR

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-7　鳥類の重要な種一覧（H5～H15）

NO.	種　名	信濃川			法指定･ＲＤＢ記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ｳﾐｳ		○	○				NT	
2	ﾖｼｺﾞｲ	○	○	○			NT		VU
3	ｻｻｺﾞｲ	○	○	○					NT
4	ﾁｭｳｻｷﾞ		○	○			NT	NT	NT
5	ﾏｶﾞﾝ		○		国天		NT	NT	
6	ﾋｼｸｲ			○	国天		VU	NT	
7	ｺﾊｸﾁｮｳ		○	○					留
8	ｵｼﾄﾞﾘ	○	○				DD		LP
9	ﾏｶﾞﾓ	○	○	○					LP
10	ﾄﾓｴｶﾞﾓ		○				VU	NT	EN
11	ﾎｵｼﾞﾛｶﾞﾓ	○	○					NT	
12	ﾐｻｺﾞ	○	○				NT	NT	留
13	ﾊﾁｸﾏ		○				NT	NT	VU
14	ｵｼﾞﾛﾜｼ		○		国天	I	EN	EN	
15	ｵｵﾜｼ		○		国天	I	VU	EN	
16	ｵｵﾀｶ	○	○			I	NT	VU	VU
17	ﾊｲﾀｶ	○	○	○			NT	NT	VU
18	ﾉｽﾘ	○	○	○					NT
19	ｻｼﾊﾞ		○	○			VU		VU
20	ﾁｭｳﾋ		○				EN	NT	
21	ﾊﾔﾌﾞｻ	○	○	○		I	VU	NT	留
22	ﾁｮｳｹﾞﾝﾎﾞｳ	○	○	○					留
23	ｸｲﾅ	○							DD
24	ﾋｸｲﾅ	○					VU	VU	VU
25	ｺﾁﾄﾞﾘ	○	○	○					NT
26	ｲｶﾙﾁﾄﾞﾘ	○	○						NT
27	ｺｱｼﾞｻｼ	○	○	○			VU	NT	EN
28	ｺﾐﾐｽﾞｸ		○						VU
29	ﾔﾏｾﾐ	○	○					NT	NT
30	ｱｶﾓｽﾞ	○					EN	VU	EN
31	ﾉﾋﾞﾀｷ	○	○	○					NT
32	ｺｺｼｷﾘ	○	○	○					NT
33	ｾｯｶ	○	○	○					CR
34	ｺｻﾒﾋﾞﾀｷ		○	○				NT	
35	ﾎｵｱｶ		○	○					NT
36	ﾉｼﾞｺ	○	○				NT	NT	NT

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-8　両生類・爬虫類・哺乳類の重要な種一覧（H4～H13）

No.	種　名	信濃川			法指定･ＲＤＢ記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ﾄｳｷｮｳﾀﾞﾙﾏｶﾞｴﾙ	○	○				NT		
2	ﾂﾁｶﾞｴﾙ	○	○						VU
3	ﾓﾘｱｵｶﾞｴﾙ		○					NT	NT
4	ｽｯﾎﾟﾝ	○					DD		
5	ﾋﾊﾞｶﾘ	○							DD
6	ｶﾓｼｶ	○			国天				留
7	ｻﾄﾞﾓｸﾞﾗ			○			NT	NT	

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

表 2-9　昆虫類の重要な種一覧（H7～H17）

No.	種　名	信濃川			法指定･RDB記載等の状況				
		上流部	中流部	下流部	文化財保護法	種の保存法	環境省RL	新潟県RDB	長野県RDB
1	ｵｵｾｽｼﾞｲﾄﾄﾝﾎﾞ		○				CR+EN	EN	
2	ﾓｰﾄﾝｲﾄﾄﾝﾎﾞ	○					NT		
3	ｱｵﾊﾀﾞﾄﾝﾎﾞ	○						VU	VU
4	ｱｵﾔﾝﾏ		○					NT	
5	ﾏﾀﾞﾗﾔﾝﾏ			○				VU	NT
6	ｸﾛｽｼﾞｷﾞﾝﾔﾝﾏ		○						NT
7	ｷﾞﾝﾔﾝﾏ	○	○	○					NT
8	ｻﾗｻﾔﾝﾏ		○						CR+EN
9	ﾎﾝｻﾅｴ	○						VU	
10	ｳﾁﾜﾔﾝﾏ	○	○	○					NT
11	ﾅｺﾞﾔｻﾅｴ			○			NT	NT	
12	ｵｵﾄﾗﾌﾄﾝﾎﾞ		○						CR+EN
13	ﾄﾗﾌﾄﾝﾎﾞ		○					NT	CR+EN
14	ﾉｷﾞｶﾜｹﾞﾗ	○							NT
15	ｶﾔｷﾘ		○					NT	
16	ｽｽﾞﾑｼ		○						LP
17	ﾊﾏｽｽﾞ		○						CR+EN
18	ｴｿﾞｴﾝﾏｺｵﾛｷﾞ		○						VU
19	ﾊﾙｾﾞﾐ	○	○					NT	
20	ｼﾛﾍﾘﾂﾁｶﾒﾑｼ	○					NT	NT	
21	ｱｶｽｼﾞｷﾝｶﾒﾑｼ	○							留
22	ﾐｿﾞﾅｼﾐｽﾞﾑｼ		○				NT		
23	ｷﾞﾝｲﾁﾓﾝｼﾞｾｾﾘ		○				NT	NT	NT
24	ﾐﾔﾏﾁｬﾊﾞﾈｾｾﾘ		○	○					VU
25	ｷﾏﾀﾞﾗｾｾﾘ		○						NT
26	ﾐﾔﾏｼｼﾞﾐ	○	○				VU	VU	NT
27	ｸﾛｯﾊﾞﾒｼｼﾞﾐ	○						EN	留
28	ｳﾗｷﾞﾝｽｼﾞﾋｮｳﾓﾝ		○				NT		
29	ｵｵﾑﾗｻｷ	○					NT	NT	留
30	ｺｼﾞｬﾉﾒ		○					NT	
31	ｵｵﾋｶｹﾞ		○						VU
32	ｳﾁﾑﾗｻｷﾋﾒｴﾀﾞｼｬｸ		○						
33	ﾐｲﾃﾞﾗｺﾞﾐﾑｼ		○	○					VU
34	ｼﾝｼｭｳﾏﾙｶﾞﾀｺﾞﾐﾑｼ		○						VU
35	ｵｵｱｵｸﾞﾛﾋﾗﾀｺﾞﾐﾑｼ		○						CR+EN
36	ｽﾅﾊﾗｺﾞﾐﾑｼ		○	○			NT		
37	ｾｱｶｵｻﾑｼ		○	○					VU
38	ｷﾍﾞﾘﾏﾙｸﾋﾞｺﾞﾐﾑｼ	○					NT		VU
39	ｷｿﾅｶﾞｺﾞﾐﾑｼ			○					VU
40	ｶﾜﾗﾊﾝﾐｮｳ		○				VU	NT	CR+EN
41	ｺﾊﾝﾐｮｳ	○	○	○					VU
42	ﾏﾙｶﾞﾀｹﾞﾝｺﾞﾛｳ	○					NT		VU
43	ｼﾏｹﾞﾝｺﾞﾛｳ		○						VU
44	ﾐｽﾞｽﾏｼ		○						NT
45	ｶﾜﾗｺﾞﾐﾑｼ	○							NT
46	ﾅｶﾞﾋﾗﾀﾑｼ		○						DD
47	ｶﾞﾑｼ	○	○						NT
48	ﾔﾏﾄﾓﾝｼﾃﾞﾑｼ			○			NT		VU
49	ﾏｴﾓﾝｼﾃﾞﾑｼ		○						NT
50	ｵｵｸﾜｶﾞﾀ		○				VU	NT	CR+EN
51	ﾋﾗﾀｸﾜｶﾞﾀ		○						CR+EN
52	ｺｶﾌﾞﾄﾑｼ	○	○	○					VU
53	ﾅﾗﾉﾁｬｲﾛｺｶﾞﾈ		○						VU
54	ｼﾗﾎｼﾊﾅﾑｸﾞﾘ		○						CR+EN
55	ｸﾛｶﾅﾌﾞﾝ	○	○						VU
56	ｱﾔｽｼﾞﾐｿﾞﾄﾞﾛﾑｼ		○	○			VU		
57	ﾔﾏﾄﾀﾏﾑｼ			○					VU
58	ｺｺﾉﾎｼﾃﾝﾄｳ	○	○						VU
59	ｼﾞｭｳﾛｸﾎｼﾃﾝﾄｳ		○						VU
60	ﾑﾈｱｶﾒﾀﾞｶｶﾐｷﾘ	○						NT	CR+EN
61	ｵｵﾙﾘﾊﾑｼ		○	○				NT	VU
62	ﾓﾝｽｽﾞﾒﾊﾞﾁ		○						DD
63	ﾆｯﾎﾟﾝﾊﾅﾀﾞｶﾊﾞﾁ		○				NT		

※法指定・RDB 記載等の状況の凡例は、p. 2-13 に掲載。

「法指定・RDB 記載等の状況」凡例

1)　文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号)、文化財保護条例により指定された種
　国天：国指定天然記念物

2)　「絶滅のおそれのある野生動物種の種の保存に関する法律（平成 4 年法律第 75 号）により指定された種
　Ⅰ：国内稀少野生動植物　　Ⅱ：国際稀少野生動植物

3)　「環境省レッドリスト　1　哺乳類」（環境省．2007）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　2　鳥類」（環境省．2006）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　3　爬虫類・両生類」（環境省．2006）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　4　汽水・淡水魚類」（環境省．2007）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　5　昆虫類」（環境省．2007）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　6　陸・淡水産貝類」（環境省．2007）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　7　クモ形類・甲殻類等」（環境省．2006）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　8　維管束植物」（環境省．2007）に掲載されている種
　「環境省レッドリスト　9　維管束植物以外」（環境省．2007）に掲載されている種
　EX：絶滅　EW:野生絶滅　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類　CR：絶滅危惧ⅠA 類　EN:絶滅危惧ⅠB 類　VU:絶滅危惧Ⅱ類
　NT:準絶滅危惧　DD：情報不足　LP：絶滅のおそれのある地域個体群

4)　「レッドデータブックにいがた －新潟県の保護上重要な野生生物－ 」（新潟県．2001）に記載されている種
　EX：絶滅　EW:野生絶滅　EN:絶滅危惧Ⅰ類　VU:絶滅危惧Ⅱ類　NT:準絶滅危惧　LP：地域個体群

5)　「長野県版レッドデータブック　長野県の絶滅のおそれのある野生生物　動物編」（長野県．2004）に記載されている種
　EX：絶滅　EW:野生絶滅　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類　CR：絶滅危惧ⅠA 類　EN:絶滅危惧ⅠB 類　VU:絶滅危惧Ⅱ類
　NT:準絶滅危惧　DD：情報不足　LP：絶滅のおそれのある地域個体群　留：留意種

6)　「長野県版レッドデータブック　長野県の絶滅のおそれのある野生生物　植物編」（長野県．2003）に記載されている種
　EX：絶滅　EW:野生絶滅　CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類　CR：絶滅危惧ⅠA 類　EN:絶滅危惧ⅠB 類　VU:絶滅危惧Ⅱ類
　NT:準絶滅危惧　DD：情報不足　LP：絶滅のおそれのある地域個体群　留：留意種

2.3 特徴的な河川景観や文化財等

(1) 特徴的な河川景観

1) 上流部

① 甲武信ヶ岳（源流）

信濃川水系の源流は南佐久郡川上村（かわかみむら）の甲武信ヶ岳（標高 2,475m）山頂直下にある。甲武信ヶ岳登山道の脇には高さ 2mあまりの「千曲川・信濃川水源地標」が立っている。源流である川上村の誇りを刻み込んだモニュメントである。

千曲川・信濃川水源地標

千曲川源流域（源流標より 200～300m 下流）

② 上高地（犀川上流）

北アルプスを流れ下る梓（あずさ）川が標高 1,500m の谷間に形成した沖積平野を「上高地」と呼ぶ。その中心はカラマツとコナシ（ズミ）が生い茂る小梨平で、上高地自然教室（ビジターセンター）、キャンプ場、旅館街、河童橋などがあり、我が国有数の景勝地となっている。

河童橋

大正池と穂高連峰

③ 三川合流点（犀川上流）

北アルプスから流れ出た犀川、高瀬川、穂高川などは安曇野（あずみの）市付近で合流する。松本盆地はこれらの河川が形成した複合扇状地であり、扇端では一年中水温が変わらない豊富な湧水を利用して日本最大のわさびの栽培が営まれている。

三川合流点

④ 岩鼻（上田市付近）

上田市半過の岩鼻はひん岩という火成岩の一種が隆起し、千曲川の流れによる侵食作用により形成されたものである。岩鼻山頂の千曲川公園付近には丸みを帯びた段丘礫が分布しており、かつてこの周辺を千曲川が流れていたと考えられる。

岩　鼻

⑤ 立ヶ花狭窄部

長野盆地を過ぎて中野市立ヶ花から飯山市に至る約 10km 区間は、現在も隆起を続けているといわれる活構造地域である。その結果当該地域では先行川として狭窄部となり、岩盤が露出するとともに大きな蛇行が連続する区間となった。狭窄部では河幅が狭くなっているため、上流にあたる長野盆地北部では過去に多くの洪水被害を被ってきた。

立ヶ花狭窄部

2) 中流部

① 清津峡（きよつきょう）

清津峡は、信濃川の支流である清津川が形成した峡谷である。上信越高原国立公園内にあり、黒部峡谷（富山県）、大杉谷（おおすぎだに）（三重県）とともに日本三大渓谷のひとつに数えられている。国指定の名勝および天然記念物に指定されている。

清津峡
（第３セクター（株）なかさと HP）

② 河岸段丘

十日町盆地では、信濃川に沿って広大な河岸段丘が形成されている。この河岸段丘は約 40 万年前から始まった台地の隆起運動や地球規模の気候変動にかかわって形成されたものである。広いだけでなく、信濃川の谷底から標高 350m もの高さまで階段状に形成されていることが特徴である。

中流部の河岸段丘
（信濃川・越後平野の地形と地質）

③ 信濃川・魚野川合流点

川口町の河岸段丘上には、キャンプ場や運動施設等が整備された「総社の杜公園」がある。中でも「えちご川口　ホテルサンローラ」からみる信濃川・魚野川合流点付近の眺めは壮大である。

えちご川口　ホテルサンローラからみた信濃川魚野川合流点
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

④ 妙見堰と妙見堰広場

妙見堰は平成 2 年 3 月に完成した可動堰である。この付近は、江戸時代に信濃川を往来する船の監視所（番所）が置かれ、交通の要所として重要な役割を果たした。妙見堰の完成とあわせて番所跡に妙見堰広場が建設されている。妙見堰管理支所に併設して設置されている信濃川妙見記念館では、信濃川と人々の暮らしのかかわりや、妙見堰の役割をわかりやすく模型やスライドで説明している。

妙見堰
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

妙見堰広場（番所跡に建設されている）
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

⑤ 長生橋河岸

長生橋付近の信濃川は大河らしいゆったりとした景観が広がる。この付近には与謝野晶子、海音寺潮五郎らによる信濃川に関する歌碑がある。また、この付近では長岡まつりの大花火大会が開催され、全国的にも有名である。

長生橋全景（上流から）
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

長生橋と三尺玉の大花火
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

与謝野晶子の歌碑（上）
海音寺潮五郎の歌碑（下）

信濃川にまつわる歌碑
（信濃川・魚野川五十三次マップ）

⑥ 千秋が原

千秋が原は長岡大橋左岸の新堤の完成による廃川敷処分地である。桜堤や千秋が原ふるさとの森、ハイブ長岡（国際展示場）等、廃川敷の高度利用がなされている。

千秋が原ふるさとの森（長岡市 HP）

⑦ 大河津分水路

大河津分水路付近には、大河津分水の竣功を記念して大河津分水公園が作られている。公園の中には大河津分水路工事に関係する石碑や大河津資料館がある。また、分水の堤防にはおよそ 3,000 本もの桜の木が植えられ、桜の名所としても知られている。

信濃川補修工事竣工記念碑
【当時の内務省新潟土木出張所長だった青山士起草によるもの】
（信濃川工事事務所のあゆみ）

大河津分水の桜並木
（信濃川工事事務所のあゆみ）

3) 下流部

① 大河津分水路分派後～中ノ口川合流点付近

我が国有数の大穀倉地帯である越後平野を流下する区間である。中でも河道が大きく蛇行している加茂市鵜森付近は、粟ヶ岳をバックとした風景が良好な河川景観を生み出しており、アマチュア写真家などの絶好のポイントとなっている。

穀倉地帯を緩流する下流部（48km 付近）

加茂市鵜森付近

② やすらぎ堤

本川下流区間には 5 割勾配の「やすらぎ提」の整備が進められ、都市空間における新しい水辺のオープンスペースが創造されている。「やすらぎ提」は平成 10 年度新潟市都市景観賞を受賞している。

信濃川下流　やすらぎ提
Web：信濃川下流河川事務所（URL:http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage）

③ 河口付近

信濃川の河口付近は新潟市街地中心部を流下している。本川下流区間では朱鷺メッセ、新潟県庁など、県都新潟市を代表する建築物が川沿いに建設されている。また、関屋分水路が昭和 56 年に完成しており、新潟市中心市街地の治水安全度の向上に寄与している。

信濃川河口付近

(2) 流域の文化財、史跡、天然記念物

1）流域の文化財

千曲川の中流部は善光寺平を流下している。この地名のもととなる国宝、善光寺は無宗派の寺院で多くの観光客が訪れる。松本市の市街地に位置する松本城は日本に四つしかない国宝城郭の一つである。中流部の河岸段丘の笹山遺跡から発掘された「新潟県笹山遺跡出土深鉢型土器」は、縄文土器として初めて国宝指定されている。弥彦村にある弥彦神社は、古くから神の宿る山として信仰される弥彦山をまつる越後地方の氏神様である。新潟市内の信濃川に架かる萬代橋は市民団体「萬代橋ワークショップ」の活動がきっかけとなり平成 16 年に重要文化財に指定された。現在も交通量のある国道の橋が重要文化財に指定されるのは日本橋(東京都)に続き全国で 2 例目である。また、鉄筋コンクリート構造の重要文化財建造物としては、国内最大規模となっている。

このように信濃川沿川には数多くの遺跡や歴史的建造物が存在しており、川と人との生活の結びつきが強かったことがうかがえる。

図 2-3　信濃川流域の国指定文化財

表 2-10　信濃川流域の国指定の文化財

	指定区分	市町村	種別	名称	概要
上流部	国指定国宝	大町市	国指定国宝	仁科神明宮	伊勢神宮内宮の領地で、天照皇大神宮とも呼ばれ、仁科66郷の総社として、穂高神社、若一王子神社と共に仁科三大社の一つに数えられたと言われる。現本殿は寛永13年（1636）造営で、日本最古の神明造りといわれ、中門・釣屋と共に国宝に指定されている。
		長野市	国指定国宝	善光寺本堂	善光寺の本堂は如来堂とも呼ばれ江戸中期の最も優れた仏像、建築物で入母屋造りの総檜皮葺きなどで国宝に指定されている。ご本尊は秘仏で、同じ形の「前立観音」だけが7年に一回公開される。
		松本市	国指定国宝	松本城天守	松本城天守5棟が国宝となっており、文禄年間に築造された天守、乾古天守、渡り櫓の3棟と寛永年間に将軍家光を迎えるための、月見櫓、辰巳櫓の2棟からなる。
		青木村	国指定国宝	大宝寺三重塔	建立年は鎌倉時代末期の正慶2年（1333年）で、初重が特に大きいのがこの塔の最も大きな特色. 塩田平を見下ろす高台に建ち、周囲の風光との調和がが図られている。塔の姿が美しいことから「見返りの塔」とも呼ばれている。
		上田市	国指定国宝	安楽寺八角三重塔	寺の背後の山腹にある鎌倉末期に建立された唐様の塔姿。日本で現存する唯一の八角塔である。内陣に「金剛界大日如来」が安置されている。
中流部	国指定国宝	十日町市	考古資料	新潟県笹山遺跡出土深鉢形土器	笹山遺跡から出土した火焔型土器を中心とする土器。日本を代表する縄文土器として、57点が県内初の国宝に指定された。火焔型土器は、県を中心に分布するが、これは形や文様に様々な変化が見られ、質・量ともに群を抜いており、その学術的価値は極めて高い。
	国指定 重要文化財	長岡市	建造物	旧長谷川家住宅	江戸時代初期から庄屋を務めた豪農の邸宅。堀と塀に囲まれた敷地は7千平方メートルを超す。主屋は、1706（宝永3）年の火災で焼け、1716（享保元）年の再建と伝えられる。寄棟造（よせむねづくり）で茅葺（かやぶ）き。けた行き6間半、はり間5間半と広大であり、現存する県内最古の民家である。
			考古資料	馬高遺跡出土品	縄文時代中期の馬高遺跡からの出土品300点が指定されている。「火焔土器」命名のもとになった土器を含む。火焔土器は、燃えさかる炎のような華麗な装飾が特徴的。日本の原始美術を代表する土器として、世界的にも高い評価を受けている。
		小千谷市	建造物	魚沼神社阿弥陀堂	魚沼神社は第10代崇神天皇時代（約2000年前）の創建と言われている。本殿は流造、拝殿は安政年間の建築で、境内にある元神宮寺の別当池源寺の阿弥陀堂は、阿弥陀如来三尊を祀り、国指定重要文化財となっている。
			考古資料	銅印(印文「但馬倉印」)	倉印は、奈良時代に諸国を設けら正倉（役所の倉）の印である「但馬倉印」は、つまみは、上が細く下に向かって方形に開いた形で、印文は篆書体（てんしょたい）で彫られている。現存する倉印としては、他に「隠岐倉印」と「駿河倉印」の二つが知られるのみである。
			風俗慣習	牛の角突きの習俗	滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』にも記述され、千年の歴史があるといわれる、神事として行われてきた習俗。 戦後は一時期禁止されたこともあったが、地元の有志により復活し、昭和54年には国の重要無形民族文化財に指定され、現在も神事として受け継がれている。
		十日町市	建造物	星名家住宅	江戸初期に星名家は酒造り、米穀販売、金融業などを営み、豪農の地位を築いた。1842（天保13）年に再建された切妻造の母屋は、豪雪地にあるため、柱や桁、梁が太く、2階から採光する構造になっている。
			建造物	松苧神社	標高360メートルの松苧山頂にあり、墨書から1497（明応6）年の建築とされる。県内でも数少ない15世紀以前の木造建築物。間口5間、奥行き9間の茅葺き、寄棟造の本殿には、釘が1本も使われていない。木柄が太く、向拝や軒の出を小さくするなど、豪雪に耐えられるように工夫されている。
			建造物	西永寺	創建から700年の歴史があると伝えられている西永寺は、豪壮な構えの本堂を中心とする本格的な真宗寺院である。特に、本堂の向拝や欄間の彫刻が見事で、本堂を含む5棟が国の登録文化財となっている。
		魚沼市	建造物	旧目黒家住宅	目黒家は江戸中期以降、旧須原村の大庄屋を代々務めた旧家。屋敷は旧会津街道の西側に面し、前面に石畳を敷く大きな構え。1797（寛政9）年建築の母屋は、寄棟造、茅葺で、豪雪地の豪農住宅の典型として貴重な建物である。
下流部	国指定 重要文化財	新潟市	建造物	旧新潟税関	木造平屋建の税関庁舎。外壁をなまこ壁とし中央に二重の塔屋を持つ。引違の窓には両開きの鎧戸を設け、中央の入り口はアーチ状になっている。擬洋風建築の初期の例として、また最古の税関庁舎として貴重である。
			建造物	新潟県議会旧議事堂	明治16年(1883)に建築されてから，昭和7年(1932)までの約50年間，県政審議の殿堂として使用され，現在では県政記念館として親しまれている。木造二階建で八角塔屋を持つこの旧議事堂は，明治初期の県会議事堂の中で現存する全国唯一のもので，意匠・構造・技法など当時の洋風建築の中でも優れた特色を持っている。
			建造物	種月寺	曹洞宗の寺で、南英謙宗が1446年(文安3年)守護の上杉房朝の援助によって開基したと伝えられ、曹洞宗越後四ヶ道場の1つとして知られ、つねに多くの雲水(僧)が修業に励んでいたと言われる。
			建造物	萬代橋	萬代橋は、新潟県新潟市の信濃川に架かる国道7号の道路橋梁で1929年竣工された。2004年7月、国道の橋梁としては全国で2例目となる、国の重要文化財に指定された。
			建造物	旧笹川家住宅	村上藩の大庄屋住宅で、大庄屋の格式をよく表している役宅と、それとは対照的に風雅な意匠が見られる居室は、文政9年（1826年）に建築され国重要文化財に指定。風格ある茅葺屋根の残る表門と石灯篭は400年以上前の建築当時のものである。居室から眺める庭園は美しく、高浜虚子など著名人も多く訪れている。
			考古資料	越後国菖蒲塚古墳経塚出土品	菖蒲塚古墳は角田山の山ろくの竹野町の金仙寺にある。前方後円墳としては日本海側の北限とされている。 丘の斜面を削って、その土で盛り土したものと考えられる。江戸時代に盗掘されたことがあり、その時の青銅鏡が現存する。 その鏡は大和政権から同盟者に与えられた宝器であると言われている。
		弥彦村	建造物	弥彦神社	弥彦山東麓にある国指定重要文化財の越後一の宮。創建年代は約1300年前と言われている。灯籠まつりや舞楽など伝統的な行事も多く、四季それぞれに美しい観光スポットとなっている。

出典：新潟県の文化財一覧（新潟県教育庁文化行政課）URL：http://www.pref.niigata.jp/kyoiku/bunkagyosei/bungyo/
長野の文化財（八十二文化財団製作）　URL：http://www3.ncp.or.jp/

2）流域の史跡

信濃川流域では遺跡、城跡が多く見られることから古くから人々が文化を形成してきたことがわかる。遺跡からは約２万年前の旧石器時代から古墳時代に至るまで、人々が住んだことを示す数多くの遺跡が出土している。

千曲川と犀川の合流点となる長野市には武田信玄により建てられたと言われる松代城跡がある。地形の利をたくみに生かした造りとなっていることから、「天下の名城」と謳われた。上田市に位置する信濃国分寺跡は奈良時代に聖武天皇の詔によって建てられたものである。現在は史跡公園として整備されており、土器等の出土品が敷地内の資料館に展示されている。中流部の河岸段丘の藤橋遺跡は縄文時代後・晩期の大規模集落跡であり、国の指定面積は約 10 万 m^2 に及ぶ。現在は資料館、広場として利用されている。下流部河口近くの旧新潟税関は港町新潟を象徴する建物であり、開港当時の姿を現在に伝えている。新潟市にある菖蒲塚古墳は前方後円墳として日本海側の北限とされている。青銅鏡、ヒスイ製勾玉、碧玉製管玉などが出土している。

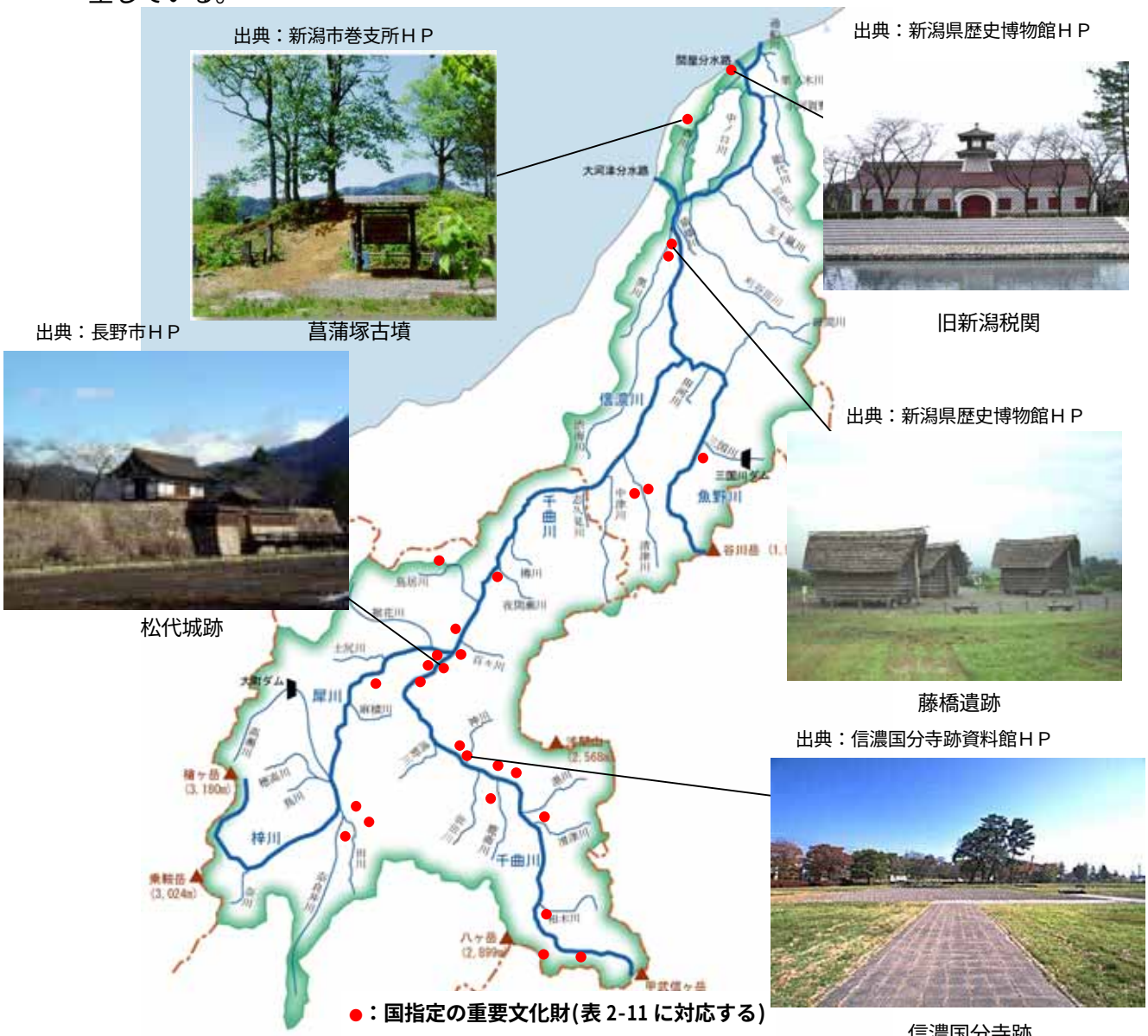


図 2-4　信濃川流域の主な史跡

表 2-11　信濃川流域の国指定の史跡等

	指定区分	市町村	種別	名称
上流部	国指定重要文化財	千曲市	名勝	姨捨（田毎の月）
		上田市	史跡	鳥羽山洞窟
			史跡	上田城跡
			史跡	信濃国分寺跡
		川上村	史跡	大深山遺跡
		北相木村	史跡	栃原岩陰遺跡
		小諸市	史跡	寺ノ裏石器時代住居跡
		佐久市	史跡	旧中込学校
		塩尻市	史跡	平出遺跡
		信濃町	史跡	小林一茶旧宅
		千曲市	史跡	森将軍塚古墳
		長和町	史跡	星糞峠黒曜石原産地遺跡
		長野市	史跡	大室古墳群
			史跡	旧文武学校
			史跡	川柳将軍塚古墳・姫塚古墳
			史跡	松代城跡
			史跡	松代藩主真田家墓所
		東御市	史跡	戌立石器時代住居跡
		松本市	史跡	弘法山古墳
			史跡	松本城
		南牧村	史跡	矢出川遺跡
		山ノ内町	史跡	佐野遺跡
中流部	国指定重要文化財	十日町市 湯沢町	名勝	清津峡
		長岡市	史跡	藤橋遺跡
			史跡	馬高・三十稲場遺跡
		南魚沼市	史跡	八幡林官街遺跡
			史跡	坂戸城跡
下流部	国指定重要文化財	新潟市	史跡	旧新潟税関
			史跡	菖蒲塚古墳

出典：新潟県の文化財一覧（新潟県教育庁文化行政課）URL：http://www.pref.niigata.jp/kyoiku/bunkagyosei/bungyo/
長野の文化財（八十二文化財団製作）　URL：http://www3.ncp.or.jp/

3）流域の天然記念物

信濃川流域には、多くの天然記念物が存在する。ここでは国指定の代表的な天然記念物を説明する。

上流部には四阿山（あずまやさん）の南山腹の尾根上に突起する四阿山の的岩がある。これは六角柱状の俵を積み重ねたような奇妙な形であり、壮観な眺めとなっている。また、白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石も天然記念物に指定されており、これは白骨温泉の湯に多く含まれる炭酸石灰が幾重に重なり、形成されたと言われている。

梓川の上流に位置する上高地は岐阜県に接する長野県北部の高山中の小盆地である。北側の槍ヶ岳から穂高・焼岳に至る高峰に囲まれ、渓流梓川、明神池、田代池、大正池などが造り出す静寂・荘厳な景観の見事さは我が国第一級のものである。北アルプス登山の拠点としても著名であり、長野県の特別天然記念物に指定されている。

中流部には、清津川の支流、釜川の上流に七つの滝つぼが連なる渓谷、田代の七ツ釜がある。渓谷の右岸は切り立った横の断面層、左岸は縦層となっており、学術的にも珍しいものである。周りは広葉樹林におおわれ、美しい景観となっている。

下流部には、越後七不思議の一つに数えられる、了玄寺境内にある浄土真宗の開祖親鸞聖人ゆかりのツナギガヤがある。高さ 3m、基部より多数の支管幹に分かれ、約 1.3a の地面をおおう。枝から生ずる葉が年ごとに表裏反転する奇態を呈している。また三条市の笠堀ダムにはカモシカが群棲している。笠堀ダムは標高 200m で、周りの岩山は断崖をなして人を寄せつけず、夏でも 20℃と涼しく、カモシカにとって生息しやすい条件が揃っている。笠堀ダム周辺には、カモシカが 500 頭は生息していると推測されている。

図 2-5　信濃川流域の天然記念物位置図

●：天然記念物の位置を示す

(表 2-12 に対応する)

表 2-12　信濃川流域の天然記念物一覧

	指定区分	市町村	種別	名称
上流部	国指定 重要文化財	松本市	特別名勝、特別天然記念	上高地
			特別天然記念物	白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石
		飯山市	天然記念物	黒岩山
		小諸市	天然記念物	テングノムギメシ産地
		佐久市	天然記念物	岩村田ヒカリゴケ産地
		上田市	天然記念物	四阿山の的岩
			天然記念物	西内のシダレグリ自生地
			天然記念物	東内のシダレエノキ
		中野市	天然記念物	十三崖のチョウゲンボウ繁殖地
		長野市	天然記念物	素桜神社の神代ザクラ
		安曇野市	天然記念物	中房温泉の膠上珪酸および珪華
		南牧村	天然記念物	八ヶ岳キバナシャクナゲ自生地
		山ノ内町	天然記念物	渋の地獄谷温泉
		大町市	天然記念物	高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰石
中流部	国指定 重要文化財	十日町市	天然記念物	田代の七ツ釜
			天然記念物	清津峡
下流部	国指定 重要文化財	新潟市	天然記念物	鳥屋野逆ダケの藪
			天然記念物	月潟の類産ナシ
		田上町	天然記念物	了玄庵のツナギガヤ
			天然記念物	田上町ツナギガヤ自生地
		五泉市	天然記念物	小山田ヒガンザクラ樹林
		三条市	天然記念物	笠堀カモシカ生息地

(3)イベント・観光

信濃川流域では、水面、高水敷及び堤防を利用したイベントが多数開催されている。

春季は桜を鑑賞するため、たくさんの観光客が足を運ぶ。夏季には花火大会や、ボート大会など水面を利用したイベントが各地で開催される。冬季には各地で開催される雪祭りや、ハクチョウが飛来する五十嵐川等には多くの観光客が訪れる。

また、信濃川の堤防を利用したウォーキング、マラソン大会が開催されるなど、信濃川流域は一年を通して多くの人々に利用されている。

表 2-13 には信濃川流域で行われているイベント・観光について示す。その内、主要なものを以下に詳述する。

① いいやま菜の花まつり(飯山市)

唱歌「おぼろ月夜」に歌われた菜の花を丘の斜面に見ながら、朧月夜音楽祭や写真コンテスト、菜の花コンサート等で盛り上がる。

菜の花公園と千曲川

② つけば漁（千曲川）

上田盆地の千曲川本川、支川依田(よだ)川で行われている。本流に沿って流れの中にウグイの産卵床を模した人工河川を作り、ウグイを採捕する漁法である。つけばの料理小屋には毎年多くの観光客が訪れる。

つけば漁

③ 川中島古戦場(長野市)

川中島の戦いが行われた場所で、 現在は観光名所になっている。八幡原(はちまんばら)史跡公園内には馬に乗った謙信の剣を信玄が軍配で防いだという伝説に基づく銅像が建てられている。

八幡原史跡公園の上杉謙信
･武田信玄像

④　全日本・信州犀川カヌー大会
(大町市、信州新町)

大町市～信州新町にかけて、ワイルドウォーター、カヌー、ツーリングフラットウォーターレーシングの三競技が行われる。

全日本・信州犀川カヌー大会

⑤　かなんばれ（北相木村）

相木村の河原に子ども達が集い、古い雛人形に家々の災いを移し、川に流す行事。「家難払い」あるいは「河難払い」の字をあてると言い、水に対する感謝と恐れを教える素朴な行事である。

かなんばれの様子

⑥　長岡まつり〔長岡大花火大会〕
（長岡市）

長岡まつりは長岡空襲からの復興を願い空襲翌年の昭和 21 年 8 月 1 日に行われた戦災復興祭を起源とする。毎年 8 月 1 日～3 日にかけて行われ、前夜祭、昼行事、大花火大会の３つで構成されている。長岡市長生橋付近で開催される大花火大会では、650m の大輪を咲かせる正三尺玉をはじめ、約 20,000 発の花火が夜空を彩る。毎年 80 万人の人々が訪れる。

長岡まつり (長岡大花火大会)

⑦　牛の角突き(小千谷市)

牛同士がぶつかり合い、角打ち、鼻押し、横打ち、鉄砲突きなど、16 手の技を繰り出す伝統的行事。

牛の角突き (小千谷市)

⑧　十日町雪祭り(十日町市)

100 基近くの雪の芸術作品、4,000 個の雪だるまやギネスブックにも載った世界最大の雪の建造物のステージで、幻想的なステージショーが繰り広げられる。

十日町雪祭り

⑨　ヤナ漁(魚野川)

魚野川では、鮎やニジマスなどの川魚が多く、ヤナ場（川の中に木や竹ですのこ状の台を作ったヤナという構造物を設置し、上流から泳いできた魚がかかるのを待つ漁法）を仕込んで漁をする人の姿がしばしば見受けられる。ヤナ場の料理小屋には毎年多くの観光客が訪れる。

川口ヤナ（出典：川口町 HP）

⑩　信濃川フェステイバル(新潟市)

下流部のやすらぎ提でフリーマーケットをはじめ、E ボート大会、キャラクターショーなど様々なイベントが行われる。

信濃川フェスティバル

⑪　白根大凧合戦(新潟市)

中ノ口川をはさみ両岸から 24 畳の大凧を揚げ、空中でからませて川に落とし、凧綱が切れるまで引き合うもので、新潟の初夏を彩る風物詩として親しまれている伝統行事。

白根大凧合戦

⑫　おいらん道中（燕市）

大河津分水路堤防沿いの桜並木の下、3人のおいらんが絢爛豪華な衣装に身を包み、大勢の付き人を従えて、優雅に練り歩く。

おいらん道中

表 2-13(1)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
桜祭り	悠久山桜まつり	長岡市	悠久山公園は、市外からの多くの人が訪れる桜の名所。公園内に植えられた2500本のソメイヨシノや八重桜、しだれ桜などが満開となる4月中旬頃に「桜まつり」が行われる。夜になると公園や蒼柴神社の参道を中心に数百の提灯がともり、花見気分を盛り上げる。
	黄桜の丘・花まつり	十日町市	毎年、黄桜が満開を迎える４月に行われ、黄桜の丘を題材にした短歌発表会がこの丘で開催される。
	飯山城址桜まつり	飯山市	約400本のソメイヨシノが、小高い丘の飯山城址、城山公園にいっせいに咲きそろう。二の丸広場からは千曲川とそれを縁取る菜の花が見わたせ、三の丸広場では桜と黄色いスイセンの花が楽しめる。
	上田城千本桜まつり	上田市	戦国の名城を舞台に咲き乱れる、見事な桜を堪能できるほか、俳句会、写真コンテストを行っている。
	懐古園桜まつり	小諸市	ソメイヨシノ、ヒガンザクラなど約300本の桜が咲き誇る。特に懐古園内馬場でしか見ることのできない「コモロヤエベニシダレ」は園内に3本しかなく、全国的にも珍しい貴重な桜。
	夜桜会	松本市	松本城には本丸庭園や内堀、外堀沿いにソメイヨシノやシダレザクラ、ヤエザクラなど三百十八本の桜の木がある。満開の桜の元、ライトアップされた天守閣を眺めながら、お茶会や琴やフルート・雅楽の演奏を楽しむことができる。
祭り	新潟まつり	新潟市	新潟市で行われていた住吉祭･万代橋の橋祭り（川開き）･開港記念祭･商工祭をまとめた行事。昼は神輿や山車、夜は信濃河畔の花火がみもので、前夜祭として民謡流しがおこなわれる。
	角兵衛獅子	新潟市	江戸時代後期、度重なる信濃川の水害による生活の困窮を救うため、月形村の百姓角兵衛が子供に獅子舞を教えて諸国をまわったのが始まりといわれている。歳月が流れ、川も整備されるようになり、巡業は行われなくなったが、昭和の初めには代表的な郷土芸能となった。
	チューリップまつり	五泉市	約３haの畑に、１５０万本の色とりどりのチューリップが咲きそろう。
	雪椿まつり	加茂市	雪椿まつりは、昭和４１年にユキツバキが「新潟県の木」に指定されたことをきっかけに始まったもの。マラソン、パレード等のイベントが実施される。
	加茂まつり	加茂市	加茂まつり（青海神社春季祭礼）は、加茂市の伝統あるまつりの中で最も盛大であり、乳児に産衣を着飾ってお供することから「乳母まつり」とも呼ばれている。
	上条まつり	加茂市	６世紀後半に創建されたと伝えられる長瀬神社は、加茂川の清流に臨んで八幡の地に鎮座している神社。重さ５００kgとも６００kgとも言われる全国的にも珍しい六角形の神輿が繰り出す。
	加茂川夏祭り	加茂市	毎年「越後加茂川夏祭り」が盛大に開催される。全長約２㎞の大ナイアガラ、花火大会、盆踊り大会等、趣向を凝らした行事が繰り広げられる。
	見附まつり	見附市	「市民自らが参加し楽しむ”まつり”、子どもたちにふるさとの思い出を」をテーマに、市民総合参加によるまつりを目指し、「民踊流し」、「樽ぼやし大会」、「鼓笛パレード」、「越後見附太鼓」をはじめ、さまざまな行事が繰り広げられる。
	草生水まつり	柏崎市	『日本書紀』に、越の国（新潟県）から近江の国（滋賀県）の天智天皇に「燃える土」と「燃える水」が献上させたという記述がある。その史実を後世に伝えることや地域の発展を願って『草生水まつり』が始まった。
	ゆかけ祭り	**弥彦村**	幾千年の昔から沸き出ずる霊泉である湯神社より戴いた神湯を青葉で浴び、無病息災、開運厄除、商売繁盛、学業成就などを祈願するものです。勇壮な木遣りにあわせて湯曳き車と共に温泉街を練り歩く。
	燈籠まつり	**弥彦村**	県下各地の大燈籠講中から献燈の大燈籠と、地元氏子中より献燈の小田楽燈籠多数が、神歌楽・天犬舞の両舞童、宮司以下神職、役員総代らの供奉する二基の御神楽を中心として、その前後に連なり渡御を展開する。
	菊まつり	**弥彦村**	毎年１１月１日から１１月２４日まで越後一宮弥彦神社の境内で開催される。出品者数・出品品目において全国随一の規模を誇る。
	三条夏まつり	三条市	子供たちによる「ふれ太鼓」や「民謡踊り流し」、「商店街夜店市」など楽しいイベントがある。最終日には、「大花火大会」が行われ、仕掛け花火を組み込んだ豪華スターマインや尺玉の連発、ナイヤガラなど約8000発の花火が夏の夜空を彩る。
	献灯祭	三条市	正月１４日夜から１５日朝にかけて行われる八幡宮恒例の献灯祭は、江戸時代から行われてきた三条の冬の風物詩である。氏子から献納される巨大な御神灯（直径50ｃｍ・高さ1m・重さ30ｋｇ～50ｋｇ）の数々は、市民の繁栄と幸福な前途を照らす灯明として広く信仰を集めている。
	本成寺節分鬼おどり	三条市	法華宗総本山本成寺の節分会の一大行事として行われる鬼おどりは、室町時代本成寺の僧兵と農民が力を合わせて盗賊を追い払ったという古事にならい、悪魔祓いの形で節分の豆まき行事として続けられている。本成寺本堂の厳粛な空気の中に響きわたる鬼たちの叫び声と鋸・斧などの金物を持ち大暴れするその姿は迫力満点である。最後は鬼に豆を投げつけて退散させ、平和と安全を祈る。
	三条まつり	三条市	三条の鎮守、八幡宮の春季大祭として催される三条まつりは10万石の格式をもつ大名行列で知られる伝統行事である。1822年（文政5）村上藩主内藤信敦が京都所司代となったのを三条郷民が祝って10万石格式の行列を模して神輿渡御を行ったのがその始まりとされている。大名行列の後、親が、子供の無事成長を祈って2～3歳の子供を肩車に乗せ、神輿、太鼓とともに八幡宮社殿を3周して拝殿に納まる「舞込み」は、毎年多くの観光客を集める。
	高城ヒメサユリ祭り	三条市	「ヒメサユリ」は昔から下田地区の山野に群生し、その清楚可憐な姿は多くの方に親しまれてきた。森町の高城城址はそのヒメサユリの群生地として知られ、特に花が咲き乱れる「ヒメサユリの小径」は約1時間の高城へのハイキングコースとなっており花の咲く時期には毎年多くの方が訪れる。開花にあわせて行われる「ヒメサユリ祭り」ではヒメサユリの苗や山菜の販売、山菜汁のサービスなどが行われる。
	三条凧合戦	三条市	毎年６月の第１土日に行われる「三条凧合戦」では約２０もの凧組が優勝を争う。合戦で使われる凧は六角巻凧と呼ばれ、くるくると巻いて小さくできるのが特徴である。海外にも「SANJO ROKKAKU」の名で知られ、三条市は世界の六角凧の発祥の地として紹介されている。
	白鷺森林公園まつり	三条市	しらさぎ森林公園では菖蒲の開花時期にあわせ、6月中旬～7月初旬まで「花菖蒲まつり」が開催される。期間中は夜9時30分までの「花菖蒲のライトアップ」のほか、健康ウォークなどのイベントが行なわれる。
	しただふるさと祭り	三条市	五十嵐川河川公園で毎年行われている。平成10年から雨生ヶ池の大蛇伝説に基づいた雨生の大蛇祭として開催され、全長60mもの大蛇が八木ヶ鼻～街中をねり歩く。
	お取越	三条市	真宗大谷派三条別院の報恩講御引上会(ほうおんこうおひきあげえ)はお取越（おとりこし）と呼ばれ、毎年県内各地の善男善女の参詣で賑わう。この期間に開催される植木市は、草花の苗や鉢植え、果樹の苗木、庭木などを求める人々が多く訪れ、晩秋の風物詩となっている。
	おいらん道中	燕市	昭和5（1930）年ころ、日本舞踊のお師匠さんが、おいらんの衣装を身につけた弟子たちに仮装行列をさせたのが始まりといわれている。昭和11（1936）年から大河津分水の爛漫たる桜花の下でにぎやかに行われ、全国各地からたくさんの観光客が訪れている。桜花爛漫の下で、信濃･桜･分水の三太夫が絢爛豪華な衣装に身を包み、総勢70名にも及ぶ付き人をしたがえて優雅に練り歩く。
	越後くがみ山	燕市	500名を超える参加者が、「鬼面」をかぶって国上山を練り歩き、満願成就を酒呑童子に託し祈願する。

表 2-13(2)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
祭り	加茂川夏まつり	加茂市	毎年8月14日、河川敷を舞台に行われる夏まつり。夜のメインは花火と盆踊りの競演。平成4年には川の中に噴水が設置され、まつりの夜には噴水をライトアップし幻想的な世界を演出する。
	雪しか祭り	長岡市	雪の巨大ピラミッド「雪しか」をはじめ、冬の長岡を楽しむイベントが行われる。夏とはひと味違う「雪上大花火」や長岡の「食」が満載の食楽座。市民製作による雪だるま作り「100だるま大会」ほか、さまざまな雪上イベントが冬の長岡を楽しく盛り上げる。
	長岡花火大会	長岡市	高度600mの夜空に直接650mの大輪を咲かせる正三尺玉（しょうさんじゃくだま）をはじめ、約20,000発の花火が夜空を彩る。　人口約20万人の長岡に約80万人もの観客を集め、名実ともに長岡市のメインイベントとして知られている。
	王神祭	長岡市	王神祭は、蔵王権現四王子の祭りで、雛形（ひながき）、年魚（ねんぎょ）、示鏡（しきょう）などの神事が行われ、その中でも年魚は、神官が信濃川で取れた鮭を直接手に触れず二本の鉄箸と包丁でさばき、鳥居の形にならべるものである。
	米百俵まつり	長岡市	まつりの中心行事となる「越後長岡時代行列」は、長岡藩主牧野家参勤交代のようすや戊辰戦争の時の長岡藩武者隊列を再現したもので市民500人が当時の装束を着て市外を練り歩く。　ほかにも、県内でも最大規模のフリーマーケットや周辺市町村の物産市、もちつき大会などが行われ、さまざまな行事でにぎわう。
	おぢや祭り	小千谷市	「からくり万灯」「万灯みこし」がメインストリートを豪快に練り歩き、揃いの浴衣や小粋なハッピ姿の若者が祭りを盛り上げる。夜には、信濃川河畔で約7000発の花火が打ち上げられ夜空を焦がす。
	二荒神社祭礼	小千谷市	山の神（天狗）を中心に、牡獅子・牝獅子・子獅子の3頭と子供たちが舞う「豊年獅子舞」と、爺と巫子の人形が屋台で演じる「屋台人形巫子爺」で構成される。
	小千谷風船一揆	小千谷市	雪原まつりの一大スペクタクル。大きな熱気球が、真っ白な雪野原をカラフルに染め上げ、大空への挑戦が繰り広げられる。夜は熱気球にあかりを灯す、グローバルーンが有名。
	山谷・坪野ほんやら洞まつり	小千谷市	山谷・坪野地区住民総出で大量の雪の積もった雪原に、大小約5000個のほんやら洞（かまくら）をつくり、日暮れ時からろうそくを灯す。
	川口まつり	川口町	勇壮な鎧武者が町を練り歩く「武者行列」。華やかで艶やかな「女みこし」、真夏の夜空を焦がす、満開の華「大花火大会」が行われる。
	十日町雪まつり	十日町市	５万人規模の都市では世界一の豪雪地として知られる十日町市は、雪まつり発祥の地。街中いたるところに雪像が並び、雪像コンクール、雪上茶席、お祭り広場など多くのイベントが行われる。なかでも土曜の夜、雪の舞台で華麗に繰り広げられる光と音のファンタジー「雪上カーニバル」は最大の呼びもの。
	裸押し合い祭り	十日町市	五穀豊穣、無病息災などの願いを込めて、若者たちが裸で押し合う勇壮な伝統あるまつりで、来迎寺境内で行われる。
	きものまつり	十日町市	着物の町・十日町のイメージを華麗に伝える着物の祭典。染色体験、きものストリート、きもの掘り出し市など、街中がきもの一色に彩られる。
	大地の祭り	十日町市	３年ごとに行われる「大地の芸術祭」。 開催年以外にも、真夏の越後妻有を舞台に様々なイベントを行う。
	十日町おおまつり	十日町市	民謡流し、明石万灯、俄、八角神輿、花火、夜店など多彩なイベントが開催される。
	十五夜まつり	魚沼市	踊り屋台・屋台囃子・民謡流し・花火大会・みこしパレード・町内一周駅伝大会・奉納演芸会と、様々なイベントが開催される。見どころは、魚野川でのみこし流しで、みこしを担いだまま、魚野川の急流を水しぶきを上げて進む様は勇壮である。
	南魚沼市雪まつり	南魚沼市	雪像ステージでは郷土芸能ステージショーを開催するほか、19基のかまくらの中では、餅を焼いたり甘酒をふるまったり、素朴な雪国の楽しみが味わえる。
	龍谷寺　開運観音堂大祭	**南魚沼市**	前夜祭に始まり、当日は早朝より多くの信者たちが集まり、お堂の中で御祈祷や法要などの儀式を行う。また、萬燈供養・稚児行列・奉賛舞踊・演芸大会などが行われる。
	白山神社大祭	**南魚沼市**	みこし御渡・民謡流し・樽みこし・屋台ばやし・花火大会（20日）などが行われる。
	八色スイカまつり	**南魚沼市**	生産数が少ない「八色スイカ」を産地価格で提供するイベント
	大前（おおさき）神社祭	**南魚沼市**	式三番は能楽の「翁」のことで、翁・千歳・三番そうの三番が出て舞うめでたい曲である。平安期の猿楽の形を残す全国的にも珍しいまつりである。
	十五夜大祭(太々御神楽)	**南魚沼市**	200年余の伝統をもち、毎年若宮八幡宮に奉納される。32面を備え、26座を保存している。市指定無形文化財となっている。
	八海山大崎口火渡大祭	**南魚沼市**	祭壇の前に積み上げた杉の木が燃え尽き、真っ赤な炭になったところを全国各地から集まった信者達が家内安全と無病息災を念じて、素足で渡り歩く。
	魚沼菊花展･浦佐菊まつり	**南魚沼市**	浦佐普光寺（毘沙門堂）境内を会場に、南魚沼市・魚沼市・湯沢町・津南町・川口町・小千谷市・十日町市・長岡市の多くの菊育成家・愛好家が約1,000鉢の菊が展示される。また、審査員が品評を行い、菊の美しさを競う。
	越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭	**南魚沼市**	大和地区最大のお祭りで、日本三大奇祭の１つである。毘沙門堂の本尊に国家安穏・五穀豊穣・家内安全など、多くの信者 が他人より早く祈願しようと「サンヨ、サンヨ」のかけ声勇ましく激しくもみあう。毎年押合参加者は約600人、来場者は約10万人。平成16年に「国の無形民俗文化財」に指定された。
	いいやま菜の花まつり	飯山市	敷き詰められた鮮やかな黄色の絨毯が広がる。唱歌「おぼろ月夜」に歌われた菜の花を丘の斜面に見ながら、第5回朧月夜音楽祭や写真コンテスト、菜の花コンサート、野点等などで盛り上がる。
	かまくらまつり	**飯山市**	かまくらの中で地場食材たっぷりの名物「のろし鍋」を食する「かまくらレストラン」、雪原での宝探しやもちつき大会、ライトアップなどが開催される。

表 2-13(3)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
祭り	いいやま雪まつり	飯山市	25年の歴史を持つ雪国のイベント。大小２００体もの雪像が作られ、市内各所に飾られる。風情ある雪灯ろうがともる市街地では、雪像コンクール、雪中みこし、雪像ウォークラリー、各種ライブなどが行われる。
	星フル村の雪まつり	飯山市	雪原にともされる１万本のキャンドルと数え切れないほどの雪だるまが訪れる人をやさしく迎える、雪と光の幻想的な祭り。
	祇園祭	中野市	高梨政盛が越後長森原の合戦で勝利をおさめた際に催されたのが始まりで、500年近くも続く伝統行事。
	臥竜公園さくらまつり	須坂市	桜名所百選に選ばれた約800本の桜を楽しむ。
	長野灯明まつり	長野市	長野灯明まつりは、長野オリンピックの開催を記念し、2004年から装いを新たに始まった祭り。善光寺を、五輪の色にちなんだ光で照らす「善光寺・五色のライトアップ」善光寺参道に平和への想いが込められた光のアートが並ぶ「ゆめ灯り絵展」大きな光と小さな光を灯して、世界の平和を祈る。
	飯綱火祭り	長野市	綱山の「山入り」の行事を再現し、大座法師池を舞台に繰り広げられる音と光と水の幻想ファンタジー。飯縄山より運ばれた御神火がステージから湖面に浮かぶ水上護摩に点火されると花火が上がり、シンセサイザーが響く中、レーザーが湖の放水を七色に染める。
	桐原わら駒	長野市	桐原牧神社の春の例祭。商売繁盛を願う桐原わら駒が奉納される。
	エコール・ド・まつしろ　松代城春まつり	長野市	桜の開花に合わせ、松代城春まつりを開催。観桜会に合わせて桜のライトアップなど灯りの演出、伝統芸能披露、城下町松代を巡るウォーキングが開催される。
	仏都花まつり	長野市	お釈迦様の誕生を祝って執り行われる法会。稚児たちが誕生仏に甘茶をかける。善光寺は日本最古の御仏を祀る日本を代表する霊場で、寺伝によれば、 皇極天皇元年（642）に創建され、その歴史は1400年を経て今日に至る。
	長野七夕まつり	長野市	8月第1土曜のびんづる祭りを中心に行われる。七夕装飾コンクールほかイベントが行われる。
	長野びんずる	長野市	信州長野の夏祭りとして盛り上がる市民祭。善光寺の法灯をいただいた火釜を中心にして開放された道路上で「びんずる踊り」を踊る。「ソーレ」の掛け声としゃもじを打つ音が夜空に響きわたる。
	長野えびす講煙火大会	長野市	1899年に始まった花火大会。
	あんずまつり	千曲市	一目10万本といわれる日本一のあんずの里で行われる。6月下旬よりたわわに実ったあんず狩りも行われる。
	信州NAGANOチューリップまつり	千曲市	約200種100万本のチューリップが咲き競う。
	牛に引かれて善光寺詣り	千曲市	古くから善光寺詣りの精進落としの湯として知られる戸倉上山田温泉から、家族あるいは友人同士で助け合い、善光寺までの約30㎞を歩くイベント。
	森将軍塚まつり	千曲市	完全復元された国史跡「森将軍塚古墳」で、科野のムラまつり、収穫祭、パレード、将軍塚ウォーク、森将軍塚古墳青空教室など各イベントが行われる。
	大頭祭	千曲市	氏子から選ばれた頭人と呼ばれる人が主宰する新嘗祭。記録に残るだけでも400年を越える歴史と伝統がある。斎ノ森から神社までの練り行列にはお祝いの宝船が加わり、沿道の参拝者に縁起物が振舞われる。国の選択無形文化財となっている。
	雨宮の御神事	千曲市	平安時代に怨霊を鎮めるために始まったと言われる行事で、行列を組んで生仁川にかかる斎場橋までくると、「橋がかり」と称して、青年が獅子頭を持ち、橋の上からさかさ吊りになって獅子頭を振り回し、川の水をはねあげ、踊りにつかった扇子も川に投げこまれるので、この獅子の所作は厄払いとしての古風を伝えるものだと言われている。
	信濃国分寺八日堂縁日	上田市	本堂で護摩を焚き、金光明最勝王経を転読。境内では福だるまなどの市が立ち、厄除け開運のお守り「蘇民将来符」が授与される。
	文殊堂春祭り	上田市	文殊菩薩に祈祷して知恵の団子をまく祭り。食べると頭が良くなるといわれる知恵の団子まきは奪い合いになるほど。各種催し物や屋台なども出店する。
	藤村忌	小諸市	小諸は文豪・島崎藤村の第2の出発点となった町。毎年藤村の命日にあたる8月22日に文学愛好者らが、縁（ゆかり）の懐古園内にある藤村記念館前に集い、花や歌を捧げその遺徳を偲ぶ。
	木崎湖灯ろう流しと花火大会	大町市	木崎湖で燈篭流しと花火大会が開催される。
	奉射祭	安曇野市	本殿から神楽殿の的を射て吉凶を占う神事。15時～。神職が大的に弓矢を射る12本の矢の的中により一年を占う。
	塩の道祭り	大町市	古来、新潟方面の塩を内陸に運んだ古道、塩の道を昔の旅姿の歩荷や旅芸人と一緒に歩く。
	お船まつり	安曇野市	町内より穂高人形を舞台に飾った大小5艘の御船と呼ばれる山車が神社境内に集まり、神楽殿のまわりを曳きまわす。うち大船2艘は激しくぶつかり合いまつりはクライマックスへと移る。
	佐久バルーンフェスティバル	佐久市	佐久平のさわやかな風と美しい青空の中、毎年熱い戦いが繰り広げられる長野県下唯一の熱気球大会。全国から色とりどりの約40機の熱気球がゆったり優雅に飛行する姿は訪れた人々の目を楽しませる。
	佐久鯉まつり	佐久市	古い歴史をもつ名産、佐久鯉にちなんだまつり。
	佐久高原つつじまつり	佐久市	妙義荒船佐久高原国定公園内の内山牧場で開かれる。レンゲツツジと「ミス佐久鯉」をモデルにした写真撮影会やクリーンウォーキング、釣り大会（有料）、神津牧場のジャージー牛乳配布（無料）などのイベントが多数ある。
	佐久千曲川大花火大会	佐久市	東信地方最大の規模を誇る花火大会。スターマイン、打上げ花火や、橋に仕掛けられたナイアガラなど約5000発が打ち上がる。
	望月駒の里　草競馬大会	佐久市	ポニーや農耕馬、サラブレッドなど約70頭の馬が参加し、地元農産物の直売、ちびっこ馬車の運行がある。
	榊祭り	佐久市	五穀豊穣･無病息災を願う行事。松明山から燃え盛るタイマツを手にした青年たちが駆け下り、鹿曲川に投げ入れる。これがすむと「榊さま」と呼ばれる大きな榊を飾った神輿で、勇壮に町内を練りまわる。
	松本あめ市	松本市	「敵に塩を送る」の故事に由来した伝統行事。古くは「塩市」だったもので、以来 ” 塩がます ” をかたどった飴を売るようになり、今日の「飴市」となった。
	上高地開山祭	松本市	登山シーズンの幕開けを祝い、山の安全を祈願する。
	松本城お城まつり	松本市	市民の祭典「まつもと市民祭」が開催され、その市民祭の一環として国宝松本城では、「お城祭り」が行われ市内5流派による合同茶会を初めに、火縄銃による古式砲術演武、人形飾り物展、菊花展や少年少女武者行列、吟詠剣詩舞の各流派による発表会など、松本城にふさわしい多彩な催しが開かれる。
	上高地明神池お船まつり	松本市	神前にて神官が山への感謝と安全をこめて祭りを行い、続いて神社神域の明神池で平安装束の神官が雅楽の調べとともに2艘の船で池を周遊する。この後、山岳遭難者の慰霊祭も行われる。
	阿禮神社例大祭	塩尻市	塩尻に夏を告げる阿禮神社例大祭は毎年７月の上旬に開催される。大きな山車の巡行は豪快である。

表 2-13(4)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
祭り	奈良井鎮神社例祭	塩尻市	毎年8月の11・12日に鎮神社例祭が盛大にとり行われる。
	小野神社御柱大祭	塩尻市	小野神社の御柱祭は卯と酉の年の七年目（満六年）ごとにおこなわれており、諏訪大社の御柱の翌年に盛大に開催される。
	龍神まつり	御代田町	真楽寺の大沼池の『甲賀三郎伝説』を発展させた龍神まつりは、昭和57年から始まった。
	小田井宿祭り	御代田町	小田井宿祭りは、小田井宿発足400年を記念し、地元の若者たちが中心となって毎年8月16日に開催されている。この祭りは、小田井宿ゆかりの皇女和宮のご降嫁の際、授かった拝領人形を籠に乗せ行列するというもので古式豊かにとり行われる。
	道祖神まつり	御代田町	外からやってくる疫病、悪霊、不祥事などを防ぐ、神（賽の神）である道祖神は、子供たちに親しまれている。村の入り口や、辻は子供たちの遊び場だったため子供たちとの縁が深い。町中には１６基の道祖神が見られ、年号、銘文があるものが１０基ある。小田井、塩野の道祖神祭り。面替には天神講がある。
	青木村夏まつり	青木村	青木村内において、毎年８月第１土曜日に盛大に行われる夏まつり。
	お田植え祭り	筑北村	中世においては、農事の自然神を祀る神事で、特に田植えは田の神を祀り豊作を祈願する大切な祭礼の場でもあったようである。黒々と墨を塗った張子の牛と置鞍（おきぐら）・代掻き（しろかき）道具一式をひきだし、神官を先に立って、選ばれた御者がこの牛を引く。手綱をとるのが太郎、万鍬（まんが）を握って代掻きの仕草をするのは次郎。太郎と次郎は作業の仕草をしながら「毎年毎年いやでござる」と言いながら、境内の大広前庭を三回まわり代掻き・田植え祭りを執行する。見物をしている参詣者はこの牛を目がけて雪玉を投げるが、これは水不足のないようにとの祈願を意味しているとのことである。
	狐の嫁入り	筑北村	里坊稲荷神社は清長寺第十三代住職が慶応元年（１８６５）に伏見稲荷を青柳里坊の地に分社したもの。狐の嫁入りは七年に一度行われ、男衆が女狐・狐嫁などに仮装し花嫁は籠に乗り狐に仮装した花婿が付き添い長い行列を作る。
	道祖神祭り	野沢温泉村	火の粉が飛び散る迫力満点な火祭りで、勇壮な小正月の行事。日本を代表する道祖神行事の一つとして、1995年12月に国の無形民俗文化財に指定された。
	湯沢神社とうろう祭り	野沢温泉村	神楽と灯篭連れで練り歩く。境内では三十六歌仙舞も奉納される。8日の夜は花火大会、屋台流し、燈篭行列、9日の昼には神輿、子供神輿などが行われる。
その他イベント	新潟市信濃川駅伝大会	新潟市	新潟市陸上競技場をスタート～県庁裏～昭和大橋～陸上競技場と信濃川の沿岸を2周するコース。中学生以上なら男女だれでも参加出来る。
	信濃川フェスティバル	新潟市	信濃川やすらぎ堤では、恒例のフリーマーケットをはじめ、屋台、縁日、水鉄砲の作製体験コーナーなどを実施。特設ステージではキャラクターショーやよさこい踊り、万代太鼓、ヒップホップダンスなどが行われる。Eボートレースでは、観覧者も楽しめるよう、優勝チームを予想する「タイムトライアルレース優勝チーム応援大会」を実施している。
	新潟マラソン	新潟市	悠々と流れる日本一の大河・信濃川、朱鷺のふるさと佐渡島が望める日本海を有す、水の都にいがたを舞台に繰り広げられる新潟マラソン大会。
	白根大凧合戦	新潟市	中ノ口川をはさんでくりひろげられる凧合戦。由来は、江戸時代の中ごろ川を挟んで、白根市と味方村があり、白根側から揚げた凧が味方村へ落ちて家や農作物を荒らしてしまい、怒った味方側は対抗して大凧を制作して白根側へたたきつけたのが始まりと言われている。この合戦に使われる凧は和紙324枚張りの5m×7mという大きなもので、13組の凧で合戦する。
	信濃川Eボート大会	長岡市	信濃川」に親しみながら、地域連携・交流を進める目的で、Eボート川くだり(約13km)、交流レース、懇親会などを行っている。
	金峯神社の流鏑馬	長岡市	７月１５日の金峯神社の大祭に流鏑馬が行われる。流鏑馬は本県では金峯神社と佐渡に残って いるのみで、極めて貴重な神事である。
	信濃川河岸段丘ウォーク	小千谷市	日本でも屈指の信濃川河岸段丘を歩くウォーキング大会で。参加するコースは、ファミリー向けの12キロメートルから、50キロメートルまで6つのコースから選べる。
	牛の角突き	小千谷市	牛の角突きは、徳川時代の文豪、滝沢馬琴の書いた「南総里見八犬伝」に記述があるように、長い年月をかけておこなわれてきている。闘牛には角打ち、鼻押し、横打ち、鉄砲突きなど、様々な技があり、人々を興奮で沸かせている。越後の闘牛は、引き分けが原則で、興奮した牛に綱をかける勢子の技術も見物である。
	飯山つれづれ健康ウォーク	飯山市	桜づつみモデル事業で整備された「飯山桜づつみ」や水辺プラザ整備事目的事業で整備された「木島自然観察広場」を歩きながら、千曲川とのふれあいを深めてもらう5kmもしくは10kmのウォーキングイベント。
	中野ひな市	中野市	店舗販売されていない中野土人形が抽選販売されるため、全国から土人形ファンが集まる。
	さらしなの里　そば祭り	千曲市	個性豊かな「信州そば」の競演、冠着太鼓、舞踊、大抽選会などが開催される。
	全日本・信州犀川カヌー大会	大町市	大町市～信州新町にかけての犀川でワイルドウォーター、カヌー、ツーリングフラットウォーターレーシングの３競技が行われる。
	千曲川ふれあい公園マラソン	小布施町	地域住民総参加による手作りの大会。春爛漫、風光明媚な北信濃の春を肌で感じれる。
	かなんばれ（家難はらい）	北相木村	相木川の河原に子供たちが集い、古いヒナ人形に家々の穢れや災いをうつし、川に流す行事。
	国際雪合戦	魚沼市	毎年2月中旬に行われる雪合戦には、職場・サークル・学校などのチームや、外国人チームなど県内外から大勢が参加する。
	全日本おにぎり選手権	魚沼市	コシヒカリの収穫が終わった頃に行われる秋の祭典。炊き立ての新米コシヒカリを使い、「早にぎりの部」、具のアレンジを競う「芸術おにぎりの部」などが行われる。
白鳥飛来地	五十嵐川	三条市	五十嵐川（荒沢地区）には毎年11月下旬ころから白鳥がやってくる。多い年で400羽ほど飛来する白鳥は、近所の人達の恵みを受けて大切に保護されている。
	大河津分水路	燕市	冬に白鳥が飛来する姿が見られる。
	白鳥湖	安曇野市	ここに昼間やってくる多くの白鳥は、御宝田遊水池をねぐらにしている白鳥で、多い時には300～400羽も、狭い田んぼでまるで芋を洗うようにひしめきあう。
	御宝田池	安曇野市	朝と夕方の時間帯に行けば、白鳥の姿が見られるが、日中は、近くの田圃に出かけてしまい、昼間は白鳥の姿は殆ど見られない。

表 2-13(5)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
観光	萬代橋	新潟市	信濃川に架かる国道7号の道路橋梁。現橋は1929年竣工。2004年7月、国道の橋梁としては全国で2例目となる、国の重要文化財に指定された。新潟市のシンボルとなっている。
	越後七浦シーサイドライン	新潟市	国道402号線巻町角田岬から寺泊町野積に至る海岸道路は、越後七浦シーサイドラインと呼ばれる景勝地。佐渡の島影を望みながら、奇岩・怪岩が連続する海岸美は、ドライブコースに最適である。
	大河津洗堰	燕市	春には桜、夏には夕涼み、秋は鮭の遡上、冬には白鳥の飛来する光景亜見られ、市民の憩いの場となっている
	国上山の五合庵	燕市	良寛は諸国行脚の後，晩年の二十数年間をここで暮らした。現在のものは，大正のはじめに再建されたものだが，木立に囲まれた趣ある茅葺きの小庵である。59歳までこの五合庵に住んだ和尚は，その後，少し山を下ったところに鎮座する乙子神社境内の草庵に移ったとされる。
	早出川渓谷	五泉市	五泉市を流れる早出川の上流は、雄大な山々の風景が楽しめる渓谷になっている。
	仙見川渓谷	五泉市	五泉市の中でも仙見川渓谷を流れる清流仙見川は水のきれいな川として親しまれている。
	良寛記念館	出雲崎町	良寛記念館は、良寛生誕200年を記念して広く浄財を求め昭和40年に完成したものであり、東京工業大学の谷口吉郎博士（芸術会員）の設計によるもの。館内には良寛の遺墨、遺品、文献等が数多く展示されている。
	良寛と夕日の丘公園	出雲崎町	昭和57年上越新幹線開通を記念し新潟県景勝100選が選定され、"良寛記念館から見る日本海と佐渡"が一位に選ばれた。
	良寛堂	出雲崎町	良寛堂は良寛の生家橘屋の屋敷跡（当時は現在の境内の2倍はあったという）に良寛の遺徳を顕彰し良寛を偲ぶために、大正11年（1922）9月に竣功した。
	ヤナ漁	魚沼市 南魚沼市 川口町	ヤナ場の料理小屋には毎年多くの観光客が訪れる。
	津南ひまわり広場	津南町	約3ヘクタールの畑に鮮やかなひまわりが咲き誇る名所。真っ青な空に向かって咲く大輪の花は見事。開花時期は天候にもよるが７月下旬～８月中旬。ひまわり迷路や出店も設置され毎年多くの人が訪れる。
	川中島古戦場	長野市	川中島の戦いが行われた場所で、 現在は観光名所になっている。八幡原史跡公園内には馬に乗った謙信の剣を信玄が軍配で防いだという伝説に基づく銅像が建てられている。
	つけば漁	上田市	上田盆地の千曲川本川、支川依田川で行われている。本流に沿って流れの中にウグイの産卵床を模した人工河川を作り、ウグイを採捕する漁法である。つけばの料理小屋には毎年多くの観光客が訪れる。
	信濃国分寺跡史跡公園	上田市	奈良時代に聖武天皇の詔によって建てられた信濃国分寺。現代になって発掘調査が行われ、尼寺、僧寺などがあった跡は史跡公園となった。土器や古瓦などの出土品が敷地内の資料館に展示されている。公園の一角には約３アールに及ぶ「かばんの藤」があり、５月中旬には花丈80－１００㎝もの立派な花が咲く。
	あんずの里	千曲市	日本一のアンズの里。上平展望台に登れば一目十万本といわれている日本一のあんずの里が見渡せる。この地にあんずがもたらされたのは元禄時代、伊予宇和島藩主伊達宗利候の息女豊姫が、松代藩主真田幸道候にお輿入れの折り、故郷の風情をしのぶよすがにと杏の種を持参したのが始まりといわれている。
	円福寺	魚沼市	当地域最古の歴史を持つ名刹で、奈良時代、聖武天皇に北陸鎮護の道場として建立された。国重要文化財の「阿弥陀如来座像」の仏像の他、上杉謙信お手植えの大杉、隠れキリシタン信仰を伝える「キリシタン地蔵菩薩」など、多くの文化財を有している。また、京都三千院と同じ形式を持つ苔庭は、侘びとさびとともに、簡素なうつくしさを漂わせる。
	法華宗総本山本成寺	三条市	長久山と号し、129７年（永仁5）宗祖の直弟日朗上人を初祖とし、日印上人が創建した根本道場。およそ6,000坪の境内には、本堂、客殿・鐘楼・宝塔・千仏堂・番神堂・山門等の七堂伽藍が壮麗を極める。
	真宗大谷派三条別院	三条市	東本願寺16世一如が宗義の紛争を統一するために、1690年（元禄3）に創建された米山以北の大谷派寺院を統括している掛所である。善男善女から「御坊（ごぼう）さま」と親しまれ、参拝も多く、寺の門前は市内の繁華街となっている。
	万葉の藤	三条市	大原高安真人（高安王）が詠んだ「妹が家に伊久里の森の藤の花今来む春も常かくし見む」の歌が万葉集巻17にあり、この藤を万葉の藤と呼んでいる。　毎年５月の上旬に美しい紫色の花を咲かせる。
	赤坂古戦場跡	三条市	明治維新にかかわる戊辰戦争の最大の激戦地となったのが赤坂峠である。新政府軍と同盟軍とのあいだに500名を越す死傷者が出たと伝えられている。
	八木ヶ鼻	三条市	高さ200メートル以上の石英粗面岩の壁が五十嵐川の上流にそそり立ち、岩肌が朝日に照らされる姿は神々しい。
	錦鯉の里	小千谷市	大小の滝や、橋などを配置した池の中に錦鯉が泳いでいる公園と、錦鯉の歴史や品種・飼育方法など錦鯉に関する各種資料の展示ホール、そして特に逸品を集めた鑑賞池のある会館で構成される。鑑賞池では入場者が錦鯉にえさを与えることもできる。
	もみじ園	長岡市	もみじ園は、明治２９年頃神谷の大地主、高橋家の別荘の庭園としてつくられたもの。約４千平方メートルの敷地内には、樹齢１５０～２００年の もみじや山桜、カエデ類、ツツジなど多くの植物が植えられている。最も多く植えられているイロハカエデは、北から九州地方の太平洋側に野生するモミジの 一種で、高橋家が事業の活動の場であった京都から優れた品種を移植したものと考えられる。
	悠久山公園	長岡市	郷土史料館、蒼柴神社と一帯をなし「お山」の呼び名で親しまれている。長岡藩三代藩主牧野忠辰が佐渡の杉苗をはじめ、松や桜などを植えて育てたのが始まりと言われ、大正6年の長岡開府300年記念に公園化が決定した。 同8年に令終会（60歳以上の市民有志）の手で完成したのち、長岡市に寄贈された。

表 2-13(6)　信濃川流域のイベント・観光

項目	名称	市町村	概要
観光	秋山郷	津南町	信濃川の支流である中津川上流に点在する、越後の七集落、信濃の五集落は総称して「秋山郷」と呼ばれる。古くから「平家の落人の里」と言い伝えられており、四季折々の美しさは人々の心をとらえてやまない。特に紅葉の美しさは秀逸である。
	竜ヶ窪の池	津南町	日本の名水百選にも選ばれている「竜ヶ窪の池」はブナやホウノキが生い茂る中にある。1.2haの池の所々に湧き出す水は、１日43,000tにも及び、その水は１日で全て入れ替わり、決して濁ることはない。
	小松原湿原	津南町	緩やかに斜面に「池塘」と呼ばれる小さな池が点在している。新潟県の自然環境保全地区にも指定され、多くの登山客で賑わう。
	猿飛橋・見倉橋・前倉橋	津南町	中津川上流にかかる３つの橋は、「新潟の橋５０選」に選ばれている。断崖の上に架かる猿飛橋、情緒豊なつり橋の見倉橋、そして赤いアーチの前倉橋。　ひとつひとつが自然に溶け込んで、美しい景色を演出する。
	見玉不動尊	津南町	津南町の見玉にある天台宗見玉山正宝院。そこは美しい滝に囲まれた、歴史のあるお寺である。仁王門には阿形と吽行が威厳のある風貌で構え、石段を登ると不動堂があり、不動明王が安置されている。平家ゆかりの池、津南の歴史を感じられる名所である。
	ひまわり畑	津南町	広大な畑に植えられたひまわりは、毎年７月下旬から８月上旬にかけての津南町の名物として親しまれている。
	高山植物園「ロックガーデン」	湯沢町	2,500メートル級の高山の自然を再現した岩の花畑である。幻のヒマラヤの青いケシや日本高山植物の女王コマクサなど、1000種類もの珍しい高山植物が咲き競う。
	湯沢中央公園	湯沢町	広大な敷地内でのびのびスポーツを楽しめる公園である。テニスコート24面のほか、サッカー、野球、陸上競技（第3種公認）施設、レジャープール、カルチャーセンターが整備されている。
	湯沢冬花火	湯沢町	13のスキー場で、花火が打ち上げられる。花火は毎回テーマを設け、そのテーマに合わせた創作花火である。テーマによって表情を変える花火は、それぞれ違った魅力で湯沢の夜を彩る。
	雪遊び体験スクール	湯沢町	チュービング、雪ぞり、かまくらづくり、スノーモービル乗車（バナナボート）、雪合戦、スノーシュー体験等、雪国ならではの遊びや体験をすることが出来る。
	雲洞庵（うんとあん）	南魚沼市	金城山の麓に所在する曹洞宗の寺。本堂は県の指定文化財になっている。
	浦佐ヤナ	南魚沼市	ヤナ場の料理小屋には毎年多くの観光客が訪れる。
	米子大瀑布	須坂市	根子岳と四阿山をそれぞれの源流にあり、不動滝と権現滝の2つで形成される。長野県内では、安曇村の「三本滝」、南木曽町の「田立の滝」と共に日本の滝100選に数えられている。
	長野県自然園「五味池破風高原」	須坂市	群馬県との境にある標高2,000mの破風岳の西側に広がるなだらかな高原で、五味池とは大池、苦池、西五味池、よし河原池、つつじが池の総称。
	鏡池	長野市	標高1200mにあり、四季それぞれの戸隠連峰を鏡のように映し出す静かな池。春の新緑、涼風の夏、中でも山が燃えるような紅葉の秋はみごとな美しさ。池を一周する遊歩道があり、戸隠森林植物園ともつながっている。
	戸隠神社	長野市	戸隠山への山岳信仰を背景に信仰の拠点として発展。古くは多くの宿坊が集まる寺院であり、明治以降は天の岩戸開き神話の神々にゆかり深い神社として信仰を集めてきた。麓から宝光社、中社、奥社の3社で構成され、古来、地の神としてまつられてきた九頭龍社、火之御子社が付随している。
	高瀬渓谷	大町市	高瀬渓谷は紅葉の美しさが県内有数の名勝地として知られる。
	久米路峡	信州新町	米路峡は、湖水と桜、新緑、紅葉、雪景色、アルプスの遠望などがよく調和し、四季を通じて山水の美が醸しだされる景勝地。民話「きじも鳴かずば打たれまいものを…」は、久米路峡に架かる久米路橋にまつわる物語として、古くから伝えられている。橋の袂にそそり立つ岩山の中腹には、「佐久間象山手植えの楓」2本が風情を添え、その近くには、幕末の偉人勝海舟の歌碑もある。
	柳久保池	信州新町	弘化4年(1847年)、善光寺地震の際に発生した地滑りにより、柳久保川がせき止められてできた山間の池。　釣り場が整備され、県内でもシナノユキマスが釣れる数少ないスポットとして注目を浴びている
	不動滝・琵琶水如来	信州新町	町内唯一のいで湯、不動温泉の名前の由来となった不動滝。新緑、紅葉、雪景色が見事にマッチする絶景。近くの岩壁には、宮尾応栄氏によって彫られた、高さ4mの磨崖仏(まがいぶつ)がある。
	十六夜観月殿	坂城町	千曲川と坂城町を一望する天下の景勝地である。
	八幡社大祭	池田町	江戸時代初期からの伝統的なお祭り。町内を練り歩き最後には八幡神社内に8台すべて並ぶ 県下有数規模の祭り。
	白糸の滝	軽井沢町	湯川の水源にあるこの滝は、高さ3m、幅70mの岩はだより数百条もの地下水が白糸の如くに落下する美しい滝。
	千ヶ滝	軽井沢町	千ヶ滝地区の湯川支流の水源近くにある２０mほどの滝
	雲場池	軽井沢町	スワンレイクという愛称を持つ池。近くの雑木林から湧き出る名水、御膳水の清らかな水をたたえ、池の周りには約２０～２５分で歩ける遊歩道が整備されている。
	差切峡	生坂村	信濃の自然百選に選ばれている峡谷。巨大な奇岩群が、約2ｋｍにわたって勇荘な展望を織りなす。奇岩群を流れる水のせせらぎに耳を傾けると、自然の恵みを十分に堪能できる。また、秋の紅葉はひときわ目を楽しませてくれる 。

■　洪水との戦いにより生まれた文化

低湿地帯である越後平野では、川は雪解け水や豪雨などで２、３年おきに氾濫を繰り返し、降り続く雨は潟に集まり、排水しきれない水は”悪水”と呼ばれる溜まり水となっていたため、腰まで浸かっての湿田での農作業も、一度破堤すれば収穫は見込めず、「田植えあって稲刈りなし」と言われたり、「腐れ田」・「流れ田」と呼ばれることもあった。こうした洪水との戦いを背景に越後平野では人々の知恵から生まれた文化がある。

深田での農作業の様子

１）悪水とのたたかい

①はさぎ並木

「はさぎ」は稲を乾燥させる立木で、昔は越後平野のどこの田園風景にも見られた。稲を乾燥させる土地さえなかった低湿地農民の知恵の一つ。

旧岩室村夏井のはさぎ並木

②割地制度

明治初期までの西蒲原地方の多くの村で、水害等の損害を土地を割替ることで平等に負担する割地制度（軒前割）が行われ、各村の農民が一定年限毎にくじを引いて土地の割替えを行っていた。

③まわり土手

川から水を引く本樋と呼ばれる管の内側に半円形に築いた副堤を「まわり土手」といい、江戸期から、河川が緩やかに屈曲し、水流が廻流するような場所で信濃川及び中ノ口川の沿川の壊れやすい本樋の補強のため造られていた。

旧白根市古川のまわり土手

④水倉

「水倉」は洪水による被害を防ぐため、明治期に多く建てられた平野部独特の倉で、高く盛った土の上に建ち、多くは二階式の土蔵造りになっている。一階に食料、二階に衣類などをしまっておき、洪水時も生活できるようになっている。

燕市松橋周辺の水倉

２）農民の副業から育った伝統産業

①三条市・燕市の金物

江戸時代に奉行が江戸から釘鍛冶職人を招き、農民の副業として和釘作りを奨励したのがはじまりとされる。

②旧白根市の仏壇・果樹

水害の不安を軽減するための厚い仏教信仰と京都から伝承した技術により産業として確立した。また、大河津分水路通水で生まれた河川敷は、果樹栽培に利用されている。

（写真：三条市提供）

③旧新津市の花卉

旧新津市では洪水によって運ばれる肥沃な土を利用した花卉栽培が盛んで、大正期には日本初のチューリップの商業栽培に成功し、チューリップ栽培園は観光名所ともなっている。

（写真：旧白根市提供）

３）川と芸能・行事

①旧月潟村の角兵衛獅子

江戸では春の風物詩として大人気だった角兵衛獅子。その由来は、度重なる中ノ口川の氾濫により月潟村の農業生活は苦しく、農民の角兵衛は副業として子どもに曲芸を演じさせ、全国各地を巡業して収入の足しにしていたものといわれる。

（写真：旧月潟村提供）

②旧横越町のサンバイシ神楽

この神楽は、水害と闘う苦しい生活の中から生まれた、ワラ、カボチャ、ナス、竹、ヒエ等でできた大変珍しい神楽であり、毎年８月下旬に神楽が奉納され、その後、近くの小阿賀野川に流される。

（写真：旧横越町提供）

③旧白根市の大凧合戦

江戸時代の中頃、白根町の人が、中ノ口川の堤防の改修工事の完成を祝って、藩主から贈られた凧を揚げたところ、対岸の西白根に落ち、家や農作物を荒らしてしまい、これを怒った西白根の人が対抗して凧を揚げて旧白根町側に落としたことから、凧合戦が始まったと伝えられている伝統行事。

（写真：旧白根市町提供）

2.4 自然公園等の指定状況

信濃川流域における主な自然公園等の指定状況は信濃川流域の新潟県側では信濃川中流域の東側に多く分布しており、長野県側では千曲川・犀川流域全体にわたって広く分布している。自然・緑地環境保全地域は新潟県側に多い。

自然公園の指定面積は国立・国定公園 182,826ha、県立自然公園 44,621ha、自然環境保全地域 1,053ha、緑地環境保全地域 24ha であり、全体で 228,524ha（流域内）となっている。これは信濃川の流域面積の約 19%に相当している。

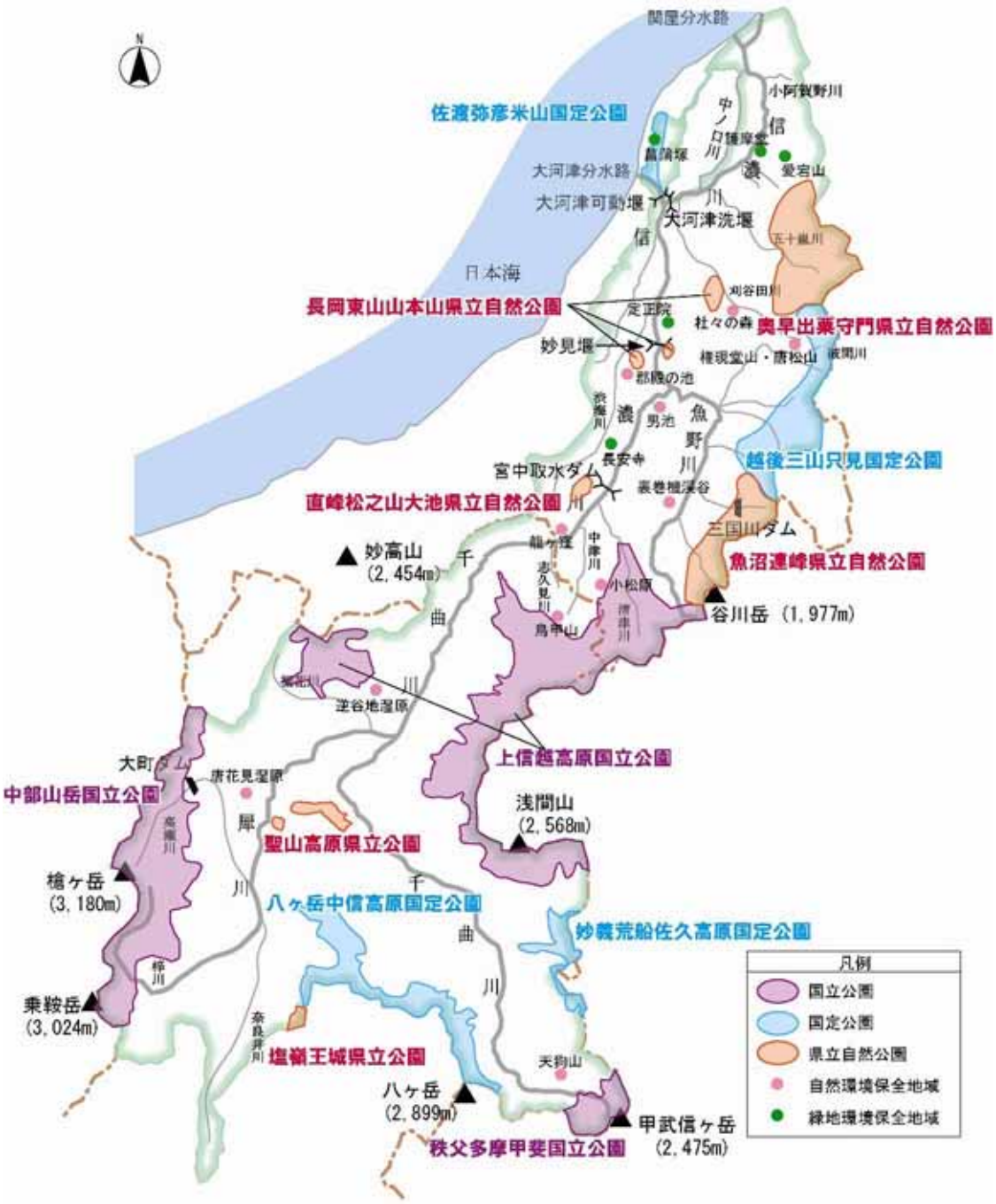


図 2-6　自然公園等位置図

表 2-14　信濃川流域の自然公園等一覧

指定項目	名称	関係市町村	面積(ha)	特質
国立公園	上信越高原	長野市/信濃町/栄村/木島平村/山ノ内町/高山村/須坂市/上田市/東御市/小諸市/御代田町/軽井沢町/湯沢町/南魚沼市	39,606	ライチョウ/温泉/眺望
	中部山岳	大町市/安曇野市/松本市	73,673	ライチョウ/温泉/眺望
	秩父多摩甲斐	川上村	9,716	クロサンショウウオ/温泉/眺望
国定公園	佐渡弥彦米山	新潟市	7,360	シャクナゲ群落/海食風景
	越後三山只見	魚沼市/南魚沼市	24,581	ブナの原生林/眺望
	八ヶ岳中信高原	塩尻市/松本市/上田市/長和町/立科町/佐久市/佐久穂町	22,830	ニホンカモシカ/溶岩台地/眺望
	妙義荒船佐久高原	佐久市/佐久穂町	5,060	岩塊風景/妙義湖
新潟県立自然公園	長岡東山山本山	長岡市/小千谷市	3,892	魚沼丘陵/レクリエーション
	奥早出栗守門	加茂市/長岡市/五泉市/三条市/魚沼市	22,250	ニホンカモシカ/
	魚沼連峰	湯沢町/南魚沼市	13,827	巻機山
	直峰松之山大池	十日町市/上越市	2,066	東頸城丘陵/温泉
長野県立自然公園	聖山高原	千曲市/麻績村/生坂村/長野市/筑北村	2,150	姥捨山
	塩嶺王城	塩尻市	436	勝弦峠
自然環境保全地域(新潟県)	杜々の森	長岡市	3	銘水
	男池	小千谷市	6	ミズゴケ湿原
	郡殿の池	小千谷市	5	コオニユリ-カキツバタ群落
	権現堂山・唐松山	魚沼市	69	アズマシャクナゲ群落
	裏巻機渓谷	南魚沼市	47	ポットホール
	小松原	南魚沼市	306	高層湿原
	龍ヶ窪	津南町	8	カワマス/湧水
自然環境保全地域(長野県)	鳥甲山	栄村	557	亜高山植生/ブナの天然林
	逆谷地湿原	長野市	8	湿原/オオニガナ
	唐花見湿原	大町市	8	湿原/ハリミズゴケ
	天狗山	川上村	36	チャートの岩峰/ハコネコメツツジ
緑地環境保全地域（新潟県）	菖蒲塚	新潟市	3	歴史的自然環境
	護摩堂	田上町	9	ツナギガヤ
	愛宕山	五泉市	6	アカマツ群落
	定正院	長岡市	1	ブナの巨木
	長安寺	十日町市	5	ブナの原生林

(注：国立公園、国定公園の面積は流域内面積である。)